

平成21年度北海道文化財年報



世界遺産登録を目指す森町鷺ノ木遺跡

平成22年5月

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化・スポーツ課

はじめに

北海道には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、次の世代に確実に守り伝えていく必要があります。

文化財を保護するためには、調査や保存・整備・修理だけではなく、公開や情報発信を積極的に行い、その価値や魅力を広く共有することが大切です。このため、北海道教育委員会では、文化財に対する価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えて行くため、文化財に親しむ機会の提供や文化財に関する多様な情報の発信などを通して、文化財に親しむ環境づくりに取り組んでいます。

この年報では、名勝ピリカノカをはじめとして新たに指定・登録された文化財や、縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた取り組み、北海道文化財保護強調月間中の事業や北海道教育委員会が実施した文化財の各種調査や保存・整備、普及活用事業など、この一年間の文化財保護の歩みについて、写真・イラストを用いてわかりやすく紹介しています。

ご活用いただき、文化財をより身近に感じていただく機会になれば幸いです。

●この文化財年報に関するお問い合わせ先

〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目

北海道教育庁 生涯学習推進局 文化・スポーツ課 文化財保護グループ

電話：011-204-5749

FAX：011-232-1076

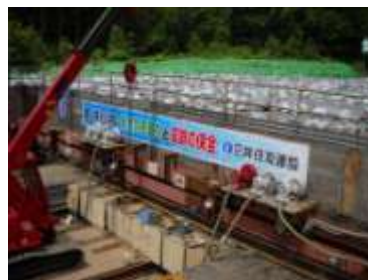
メール：kyoiku.bunka2@pref.hokkaido.lg.jp

ホームページ：<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/index>

【表紙の写真】世界遺産登録を目指す森町鷲ノ木遺跡

森町鷲ノ木遺跡は、平成15年に実施された高速道路建設に伴う発掘調査で環状列石等が発見され、その重要性から道路のトンネル化により現状保存が図られ、国指定史跡となりました。トンネル工事は平成19年度に開始され、平成22年3月に完成しました。今後は周辺区域の史跡への追加指定や公開に向けた整備が進められる予定です。

鷲ノ木遺跡の他、道内の函館市大船遺跡、洞爺湖町入江貝塚・高砂貝塚及び伊達市北黄金貝塚と、北東北3県の縄文遺跡により構成される「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録を目指しての取り組みは、13・14ページをご覧ください。



「鷲ノ木トンネル」の工事・完成

I 平成21年度文化財保護の主なあゆみ

○ユネスコ「人類無形文化遺産の代表的な一覧表」への記載

平成21年9月30日（日本時間）に開催された国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産保護条約に関する政府間委員会の決定により、国指定重要無形民俗文化財「**アイヌ古式舞踊**」が、ユネスコ無形文化遺産の「人類無形文化遺産の代表的な一覧表」へ記載されました。

○新指定の文化財

平成21年7月23日付けで名寄市の「**九度山（クトゥンヌプリ）**」、石狩市の「**黄金山（ピンネタイオルシペ）**」が名勝ピリカノカに指定されました。また、平成22年2月22日付けで枝幸町・浜頓別町「**神威岬（カムイエトゥ）**」が、名勝ピリカノカに追加指定されました。この他、道有形文化財2件が指定され、国の登録文化財に5件が登録されました。

○世界遺産登録へ向けた取組

北海道・青森県・岩手県・秋田県が共同提案した「**北海道・北東北を中心とする縄文遺跡群**」が、平成21年1月5日にユネスコの**世界遺産暫定リスト**に記載されました。4道県と関係12市町は、平成21年度から登録推進のための体制を整備し、平成27年度前後の世界遺産委員会での審議に向けて、推薦書案の作成等に着手しました。

○北海道文化財保護強調月間の取組

北海道教育委員会は関係機関5者と共同で、平成20年度に毎年10月8日～11月7日を**北海道文化財強調月間**に設定しました。この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的としたものです。

平成21年度は月間期間中に、47市町で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど127事業が実施され、多くの方が参加しました。

○アイヌ民俗文化財の保存・伝承

アイヌ民俗文化財の保存・伝承事業を実施し、3冊の報告書を作成するとともにアイヌ語学習講座を道内14会場で、アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座などを道内17会場で実施しました。

○文化財の保存整備

北海道や市町村などが主体となって、国庫補助を活用した重要文化財の保存・修理や史跡整備などの文化財の保存整備事業を15件実施しました。

○埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財については、工事や開発から保護するために172件の所在調査・試掘調査を実施し、開発計画の変更や、事前の発掘調査を求めるなどの調整を行いました。

埋蔵文化財の発掘調査は92件が実施されました。

この他にも、様々な取り組みを行っています。詳しくは、この年報をご覧ください。

1 ユネスコの世界無形文化遺産「代表一覧」への記載

平成 21 年 9 月 30 日（日本時間）に開催された国連教育科学文化機関（ユネスコ）の無形文化遺産保護条約に関する第 4 回政府間委員会の決定により、国指定重要無形民俗文化財「アイヌ古式舞踊」が、ユネスコ無形文化遺産「人類無形文化遺産の代表的な一覧表（以下代表一覧表）」へ記載されました。日本からの提案では他に「雅楽」「京都祇園祭の山鉾行事」など 12 件についても記載されています。

【解説】

アイヌ古式舞踊は、アイヌの人々によって伝承されている歌と踊りで、アイヌの主要な祭りや家庭での行事などに踊られます。

踊りにあわせて歌われる歌と踊りを「リムセ」といい、座って歌われる歌を「ウポポ」といいます。踊りには祭祀的性格の強い「剣の舞」「弓の舞」のような儀式舞踊、「鶴の舞」「バッタの舞」「狐の舞」のような模倣舞踊、「棒踊り」「盆とり踊り」「馬追い踊り」などの娯楽舞踊、さらには「色男の舞」のような即興性を加味した舞踊などがあります。

これらの舞踊は、アイヌ独自の文化に根ざし、芸能と生活が密接不離に結びついているところに特色があります。

ユネスコ無形文化遺産保護条約とは、無形文化遺産に対する国内外の理解を深め、各国の無形文化遺産保護の取り組みを促進するため、平成 15 年のユネスコ第 32 回総会において採択され、平成 18 年 4 月に発効しました。



平成 21 年 10 月現在日本を含む 116 カ国が締結国となっています。無形文化遺産保護条約においては、代表一覧表を作成すること、締結国の国内における無形文化遺産を特定し目録を作成すること等が求められています。

代表一覧とは無形文化遺産に対する認知の高まりと、多様性の尊重を目的として作成されたものです。

アイヌ古式舞踊

代表一覧はユネスコのホームページでご覧頂けます。

（ユネスコ）<http://www.unesco.org/new/en/unesco/>

（世界無形遺産代表一覧）<http://www.unesco.org/culture/ich/index.php?pg=00011>

（アイヌ古式舞踊）<http://www.unesco.org/culture/ich/index.php?RL=00278>

2 新たに指定・登録された文化財

平成 21 年度は国の名勝に 1 件（3 カ所）、道の有形文化財に 2 件が指定され、国の登録文化財には 5 件が登録されました。

●名勝

①ピリカノカ

名寄市「九度山（クトゥンヌプリ）」（平成 21 年 7 月 23 日付け）

石狩市「黄金山（ピンネタイオルシペ）」（平成 21 年 7 月 23 日付け）

枝幸町・浜頓別町「神威岬（カムイエトゥ）」（平成 22 年 2 月 22 日付け）

●道指定有形文化財

①北斗市「大乘妙典一千部供養塔」（平成 22 年 3 月 16 日付け）

②江別市「知里幸恵ノート」（平成 22 年 3 月 16 日付け）

●登録文化財(有形文化財)

①中標津町「北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫」

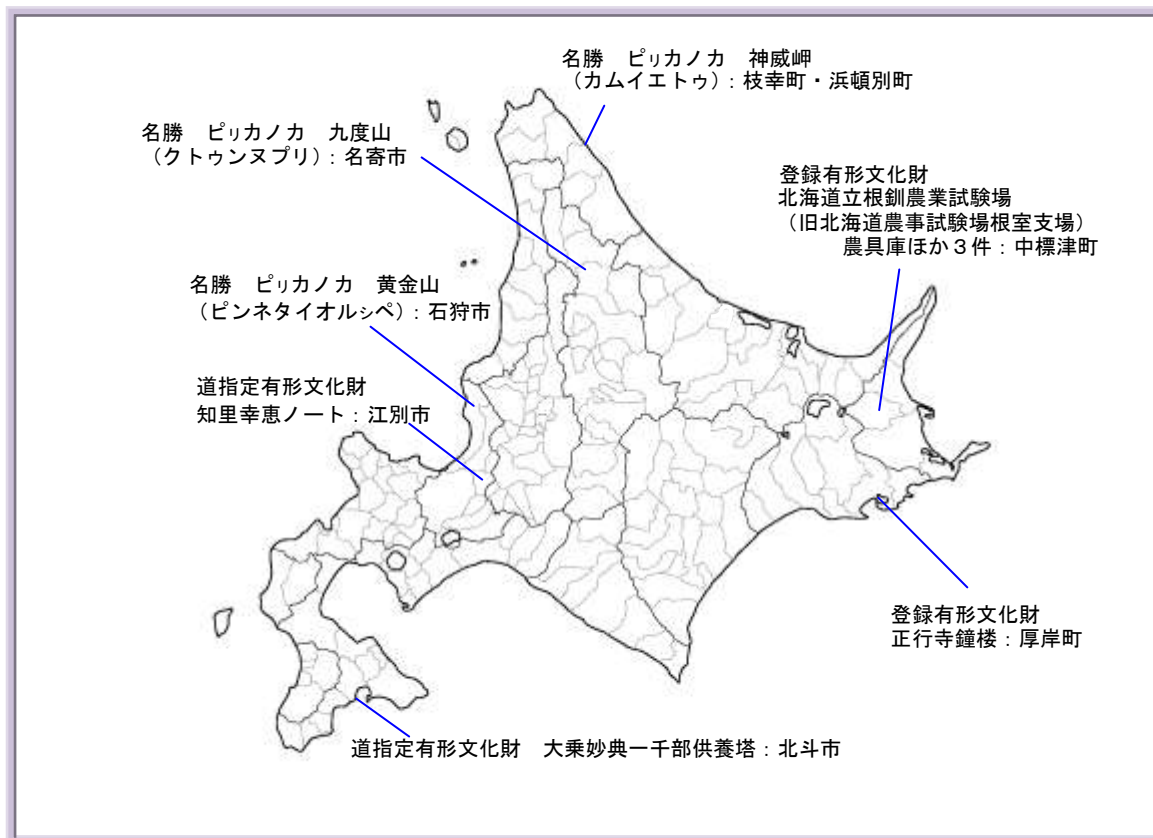
②中標津町「北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫」

③中標津町「伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）」

④中標津町「中標津町郷土館緑ヶ丘分館（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）」

⑤厚岸町「正行寺鐘楼」（いずれも平成 21 年 8 月 7 日付け）

新指定文化財の位置



名勝ピリカノカ 九度山（クトゥンヌプリ） （名寄市）
黄金山（ピンネタイオルシペ）（石狩市）
神威岬（カムイエトゥ） （枝幸町・浜頓別町）

【解説】アイヌのユカラに謡われた物語・伝承の舞台をはじめ、カムイ（神）に対する祈りの場であるチノミシリの伝承地、アイヌ語により命名された独特の地形から成る土地などは、いずれも良好な自然の風致景観を成し、アイヌ語で「美しい・形」を意味する「ピリカノカ」と呼ぶに相応しい一群の景勝地を構成しています。

その中でも、名寄市の「九度山（クトゥンヌプリ）」はアイヌ語で「岩崖がある山」の意味を持ち、名寄コタンのアイヌの人々にとって祈りの対象であったのみならず、狩猟を行う際の目印としての大切な山でもありました。

石狩市の「黄金山（ピンネタイオルシペ）」はアイヌ語で「樹叢の平原の中に聳える雄山（おやま）」の意味を持ち、ユカラに少年英雄として登場するポイヤウンペの拠点としての伝承を育んだ場所です。

枝幸町及び浜頓別町の「神威岬（カムイエトゥ）」はアイヌ語で「神の岬・突端」の意味を持ち、迫りに満ちたその偉容はカムイが宿る神聖な場所とされていました。

このような、アイヌの物語・伝承、祈りの場、言語に彩られた優秀な景勝地群を、「美しい・形」を意味する「ピリカノカ」の下に保護することを目指して、芸術上・観賞上の価値のみならず学術上の価値が高い3カ所の景勝地が名勝に指定されました。

【所在地】

九度山（クトゥンヌプリ）：名寄市字日進、字智恵文

詳しい場所はこちら→([北の遺跡案内](#))のページから地図を表示します)

黄金山（ピンネタイオルシペ）：石狩市浜益区川下

詳しい場所はこちら→([北の遺跡案内](#))のページから地図を表示します)

神威岬（カムイエトゥ）：枝幸町目梨泊・浜頓別町斜内

詳しい場所はこちら→([北の遺跡案内](#))のページから地図を表示します)

【問い合わせ先】

名寄市北国博物館 電話01654-3-2575

ホームページ：<http://www.city.nayoro.lg.jp/www/contents/1252654277591/index.html>

いしかり砂丘の風資料館 電話0133-62-3711

ホームページ：<http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/content/000017555.pdf>

枝幸町オホーツクミュージアムえさし 電話 0163-62-1231

ホームページ：<http://www.town.esashi.hokkaido.jp/contents/museum/iseki/index.html>

浜頓別町教育委員会 電話 01634-2-2525

ホームページ：<http://www.town.hamatonbetsu.hokkaido.jp/>



名寄市

九度山
(クトゥンヌプリ)

石狩市

黄金山
(ピンネタイオルシペ)



枝幸町・浜頓別町

神威岬 (カムイエトゥ)

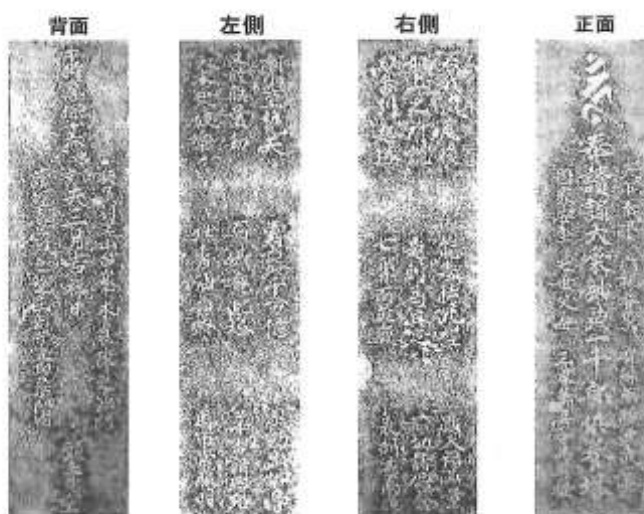
道指定有形文化財 大乘妙典一千部供養塔（北斗市）



大乘妙典一千部供養塔

（だいじょうみょうてんいつせんぶくようとう）

碑文（ひぶん）



【解説】 この供養塔は、江戸時代の享保6年(1731)に、松前藩の寺社奉行を務めた新井田五郎左衛門広友の妻が施主となり、現在の山形県にある羽黒山修験道（しゅげんどう）の僧侶是空（ぜくう）が願主となって、衆生を迷いから悟りの世界に導いてくれる教えを記した仏教經典である「大乘妙典」を一千回、独誦したときの記念に建てた石碑です。

供養塔には、先祖供養や海難供養の他、天下泰平、国家安全などの願文が刻まれ、建立者の係累や供養塔の来歴が明確な江戸時代の宗教に関連した石碑として、北海道の歴史や宗教などを研究する上で学術的な価値が高いものです。

◆修験道：山への信仰と仏教が融合した日本独自の宗教

【所在地】

北斗市茂辺地 694

【問い合わせ先】

北斗市教育委員会 電話 0138-74-2000

ホームページ：

<http://www.city.hokuto.hokkaido.jp/cultural/bunkazai/bunkazai-top.html>

道指定有形文化財 知里幸恵ノート（江別市：北海道立図書館）



知里幸恵ノート

（見開き）



知里幸恵ノート（4冊）

【解説】この知里幸恵ノートは、アイヌ語を母語とする女性、知里幸恵（明治36年（1903）～大正11年（1922））が祖母や伯母から聞き覚えたアイヌ民族に伝わるユーカラ（英雄叙事詩）などの口承文芸作品を、ローマ字を用い自らの工夫で書き綴ったものです。

このノートは、刊行本『アイヌ神謡集』と比較研究する上で、また、アイヌ語を母語とし日本語にも精通する知里幸恵資料として貴重であるばかりでなく、明治・大正期を生きた一人のアイヌ民族の女性が遺した歴史遺産として極めて重要です。

◆『アイヌ神謡集』：知里幸恵が編纂・翻訳し死後の大正12（1923）に刊行された。

【所在地】

江別市文京台東町41（北海道立図書館）

【問い合わせ先】

北海道教育委員会 電話 011-204-5749

北海道立図書館 電話 011-386-8521

ホームページ：<http://www.library.pref.hokkaido.jp/web/news/qulnh000000012n1.html>

登録有形文化財

北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫、種苗倉庫
伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）



農具庫



種苗倉庫



伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）

【解説】中標津町市街地の南方に広がる農業試験場敷地に建っています。農具庫は隅柱や窓枠、建具等を白色に塗り、四面に窓をまわす方形の塔屋を中央頂部に載せる特徴的外観となっています。種苗倉庫は柱や窓などが白く塗られ、正・背面各2カ所の屋根窓を設ける折腰屋根の外観が印象的な倉庫建築です。

伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）は中央に塔屋を上げ玄関を張り出し、左右対称に縦長上下窓が配されています。北海道第二期拓殖計画の一環として実施された根釧原野の開拓事業を象徴する建築物の一つです。

【年代】農具庫・種苗倉庫：昭和3年（種苗倉庫は昭和58年改修）

伝成館：昭和2年（昭和32年・平成5年改修）

【所在地】標津郡中標津町桜ヶ丘1-1-3

詳しい場所は[こちら（北の遺跡案内）](#)のページから地図を表示します）

【問い合わせ先】中標津町郷土館（中標津町丸山2丁目15番地） 電話：0153-72-2190

ホームページ：http://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan_web/bunkazai.htm

登録有形文化財

中標津町郷土館緑ヶ丘分館（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）



【解説】市街地の北方に位置する公園内に西面して建っています。桁行15m梁間7.3m、寄棟造平入の木造平屋建。腰下見板張とし、切妻を見せる玄関を中心として左右対称に縦長上下窓が配されています。丁寧にデザインされた瀟洒な建築物です。



【年代】昭和3年（昭和57年移築）

【所在地】標津郡中標津町丸山4-3-1

詳しい場所は[こちら（北の遺跡案内）](#)のページから地図を表示します）

【問い合わせ先】中標津町郷土館（中標津町丸山2丁目15番地）

電話：0153-72-2190

ホームページ：http://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan_web/bunkazai.htm
http://www.nakashibetsu.jp/kyoudokan_web/index.htm

登録有形文化財 正行寺鐘楼



【解説】国指定重要文化財正行寺本堂の北西に建つ鐘楼です。明治期に整えられた真宗寺院の伽藍景観を伝えています。

【年代】明治41年（大正12年・平成20年改修）

【所在地】厚岸郡厚岸町梅香町1-19他

詳しい場所はこちら([北の遺跡案内](#))のページから地図を表示します)

【問い合わせ先】海事記念館（厚岸町真栄3丁目4番地）

電話：0153-52-4040

ホームページ：<http://www.akkeshi-town.jp/rekishibunka/bunkazai/27>

<http://www.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji/>

◆登録有形文化財：保存及び活用についての措置が特に必要とされ、文部科学大臣によって「文化財登録原簿」に登録された文化財建造物です。

この登録制度は、近代等の文化財建造物を幅広く後世に伝えることを目的としており、原則として建設後50年を経過した建造物で、国土の歴史的景観に寄与しているもの、造形の規範となっているもの、再現することが容易でないことのいずれかが、登録の基準となります。指定文化財と比べ、届出制と指導・助言等を基本とする緩やかな保護措置が講じられます。平成22年2月現在、全国で7,859件の建造物が登録され、北海道では101件が登録されております。

3 世界遺産登録を目指して

平成 21 年 1 月 5 日、「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」を含む国内の 3 件の文化遺産がユネスコ世界遺産センターの管理する「世界遺産暫定一覧表」（世界遺産候補となる各国資産のリスト）に記載されたことは昨年度の年報で紹介したとおりです。

北海道と北東北 3 県は、平成 21 年 6 月に 4 道県と関係する 12 市町の首長と教育長で構成する「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」を設置し、共同で「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の登録推進のための事業に着手しました。また、北海道教育委員会においても独自に登録推進のための情報発信事業を行いました。

（１）世界遺産登録に向けた体制と事業について

平成 21 年 6 月 1 日、青森・岩手・秋田の 3 県と北海道の知事が締結した協定により「縄文遺跡群世界遺産登録推進本部」が設置されました。協定に基づき「本部」が実施する主な事業は 2 つあります。

第一は「世界遺産登録推薦書案」の作成です。「暫定一覧表」に記載された物件が世界遺産登録にふさわしいかどうかの審査を受けるためには、日本政府がユネスコ世界遺産センターに「登録推薦書」を提出しなければなりません。そこで関係自治体が主体的に推薦書案を準備しようとするものです。

第二は登録推進のための普及啓発、国際的合意形成です。政府の推薦を受けるためには日本を代表する文化遺産の一つとして広く国内の支持を得る必要があります、また登録の実現にはそれを妥当とするだけの国際的な評価を得なければなりません。そこで広報資料の作成や説明会の開催などを通じて、国内外に縄文遺跡群の「顕著な普遍的価値」を発信していこうとするものです。

「本部」のもとには各自治体の文化財担当課長などで組織する「縄文遺跡群世界遺産登録推進会議」と考古学や文化財学などの専門家による「縄文遺跡群世界遺産登録推進専門家委員会」が設置され、それぞれ事業の円滑な実施と専門的な事項の調査・検討を行っています。平成 21 年度には推進会議と専門家委員会を各 3 回開催し、推薦書案の作成準備に着手したほか、遺跡群の概要を紹介する 5 ヶ国語（英・仏・中・韓・和文）のリーフレット作成・配布などを実施しました。

（２）北海道の独自事業について

平成 14 年の北海道・北東北知事サミットにおける北海道知事の提案に基づき、北海道は平成 16 年度から縄文文化を核にした地域間交流を行う「北の縄文文化回廊づくり」事業を青森・岩手・秋田の 3 県とともに進めてきました。暫定一覧表への記載実現はこの取組みの基盤のうえに実現したものであり、本年度以降の登録推進にあたっても北海道教育委員会は知事部局と連携しながら道内の気運を高めるための事業を実施していきます。平成 21 年 10 月には縄文遺跡群の概要と登録推進事業を紹介する「世界遺産を目指して一北の縄文・パネル展」を札幌市で開催し、また平成 22 年 2 月には関係団体と組織した実行委員会による「見る・感じる！北の縄文世界展」を札幌・函館市で開催し、北海道の縄文文化の

第1回縄文遺跡群世界遺産登録推進本部で
縄文服を着て発言する高橋知事
(平成21年10月19日、盛岡市で)



フォーラム「知る・語る縄文文化」で基調講演中の小林達雄國學院大學名誉教授
(小林名誉教授は登録推進専門家委員会の委員でもある。平成21年10月31日、札幌市で)

魅力を紹介することに努めました。

さらに北海道教育委員会では、一般の方々の縄文文化への理解を促進するため、縄文文化の研究に実績のある講師が参加者とともに縄文遺跡群の特徴と価値を考えるフォーラム「知る・語る縄文文化—縄文人追跡」を平成21年10月31日に札幌市で開催しました。

これらの道内事業については北海道教育委員会のウェブサイト内で報告しておりますので、世界遺産ポータルページから進んで各事業のページをご参照ください。

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/wh.htm>

(3)「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」について

平成19年9月、北海道は北見市、標津町とともに「北海道東部の窪みで残る大規模竪穴住居跡群」を世界遺産暫定一覧表に記載するよう文化庁に提案しましたが、現状では世界遺産としての「顕著な普遍的価値」の証明が難しいとして記載は見送られました。記載実現には、同様な資産を有する他の市町村とも連携しながら道北・道東に及ぶ大規模な竪穴住居跡群の調査研究を行い、その価値を明らかにすることなどが必要と考えられます。

平成21年度には資産を構成する史跡常呂遺跡と史跡標津遺跡群のそれぞれで発掘調査が実施され、遺跡内容の調査が進展しました。また北海道立埋蔵文化財センターが5年間実施してきた幌延町・豊富町の「音類竪穴群」の確認調査が終了し、道北における大規模竪穴住居跡群の状況も明らかになっています。この資産の評価については文化庁「文化財オンライン」内「暫定一覧表記載資産の追加について」などをご覧ください。

http://bunka.nii.ac.jp/jp/world/h_14.html

4 文化財保護強調月間について

「北海道文化財保護強調月間」は、平成20年度に毎年10月8日～11月7日の期間を、北海道教育委員会をはじめ、札幌市、北海道都市教育委員会連絡協議会、北海道町村教育委員会連合会、北海道文化財保護協会、北海道博物館協会の6者により共同で、設定したものです。

この月間の設定は、道内にある貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、子どもたちや地域の人々が文化財に親しむ環境づくりの推進を目的として、月間期間中に、各市町村教育委員会や道内の博物館等の協力により、文化財公開・活用事業（指定文化財の一般公開や文化財に関連する事業）を実施するものです。

平成21年度は、第2回目として、47市町で、展示会、指定文化財の一般公開、講演・講座や文化財に関連するイベントなど128事業が実施され、八雲町「コタン温泉遺跡出土品展」などの指定文化財の一般公開、森町「森町の遺跡展」や陸別町「ユクエピラチャシ跡展」など発掘調査による成果や出土品の公開、洞爺湖町「縄文の世界を描こうー縄文絵画展ー」などのイベントが各地で開催されました。また、北海道教育委員会では、10月17日～22日に道庁ロビーなどで「世界遺産をめざしてー北の縄文・パネル展」(北海道と共催)を、10月31日にはフォーラム「知る・語る縄文文化ー縄文人追跡」を開催し、多くの皆様にご来場頂きました。

なお、第2回北海道文化財保護強調月間ポスターには、全道の児童生徒から公募したキャッチフレーズとシンボルマークの中から最優秀作品を掲載しました。今後も、様々なかたちで、児童・生徒の皆さんに、そして、広く道民の方々に文化財を身近に親しんでいただく機会づくりを、市町村教育委員会等の協力を得ながら、取組めます。

・文化財保護強調月間について→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkkan.htm>

・キャッチフレーズ・シンボルマーク受賞作品→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/21kyochogeikkkan-mirainitutaeru.htm>



「北海道文化財保護強調月間」の設定の趣旨

私たちの郷土・北海道には、豊かな自然や北国の風土の中で育まれてきた縄文時代の遺跡やアイヌの人たちの伝統的な文化をはじめ、全国各地からの移住や北海道開拓によりもたらされた多様な文化財が数多く残されています。

これらの文化財は、本道の歴史や文化を理解する上で欠くことのできないものであり、現代を生きる私たちに、先人の知恵と技を伝え、日々の暮らしに精神的な豊かさや潤いをもたらす道民の貴重な共有財産です。

しかし、一方で、長い歴史の中で受け継がれてきた文化財の中には、社会構造の変化や少子・高齢化の進行などに伴い、保存や伝承が困難となっているものもあるため、文化財に対する親しみや理解を深めながら、次世代に確実に守り伝えていくことが、いま、課題となっています。

私たち6団体は、市町村教育委員会や関係団体の皆様方と連携協力し、道民の方々が文化財に親しむ環境づくりを推進するとともに、貴重な文化財を地域全体で継承していくため、国の「文化財保護強調週間」や「北海道教育の日」との連動を図り、新たに、毎年10月8日から11月7日までを「北海道文化財保護強調月間」として設定することをここに宣言します。

平成20年7月17日



「縄文の世界を描こうー縄文絵画展」洞爺湖町 10月23日

展示の様子と入賞者のみなさん。



縄文フォーラム「知る・語る縄文文化」
パネルディスカッションの様子



北の縄文・パネル展
道庁ロビーでの展示

5 アイヌ民俗文化財の保存・伝承

北海道の貴重な文化的所産であるアイヌ文化は、伝承者の高齢化などにより世代間の伝承が難しい現状にあり、記録等を行うことが困難となる可能性があります。このため、北海道教育委員会は、アイヌの人たちの諸文化を調査・記録するとともに、地域の伝承活動を支援し、貴重なアイヌ文化を次世代に継承するため、様々な事業を行っています。

(1) アイヌ民俗文化財調査

アイヌ民俗文化財に関わる次の2件の調査事業等を行い、報告書を刊行しました。報告書はアイヌ文化に関係する道内外の研究機関及び大学図書館、主要な公立図書館等に配布し、活用を図りました。

①アイヌ民俗文化財に関する調査事業

アイヌ民族に伝統的な生業活動である山菜採集技術に関する調査を行い、その成果を次の報告書として刊行しました。

- ・『平成21年度アイヌ民俗文化財調査報告書（アイヌ民俗技術調査2）〈山菜採集技術〉』（B5判218p.）

②金成^{かんなり}マツノート整理・翻訳、刊行事業

ユーカラ等の口承文芸をローマ字で記録した伝承者・金成^{かんなり}マツのノートを整理・翻訳し、その成果を次の3冊の報告書として刊行しました。

- ・ユーカラシリーズ34『アイヌ英雄叙事詩「金の小さな耳輪」』（B5判308p.）蓮池悦子訳
- ・ユーカラシリーズ35『アイヌ英雄叙事詩「六十本の柱の家」』（B5判253p.）高橋靖以・切替英雄訳
- ・ユーカラシリーズ36『アイヌ英雄叙事詩「川口びとのヤイラブ」』（B5判232p.）萱野志朗訳

(2) アイヌ民俗文化財保存・伝承活動事業

アイヌ文化への理解を促進し、アイヌ民俗文化財を保存・伝承するため、基本的な生活用語や伝統的な風俗習慣及び民俗芸能を学ぶことを目的とした次の事業を実施しました。

- ①アイヌ文化を理解するための基本的なアイヌ用語学習講座：道内14会場(延べ255講座、延べ参加人員2,203人)

- ②アイヌの伝統的有形、無形の風俗習慣に関する伝承講座：道内17会場(延べ110講座、延べ参加人員868人)

- ③アイヌの伝統的芸能に関する伝承講座：道内17会場(延べ89講座、延べ参加人員1,178人)



アイヌ古式舞踊練習風景

6 指定文化財の保存整備(国庫補助事業)

指定文化財の保護・保存をはかるため、北海道教育委員会・市町村教育委員会などが主体となって国庫補助を活用し、重要文化財の建物や、縄文時代の漆製品などの保存や修理、史跡・名勝の保全などの事業を行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要文化財	旧手宮鉄道施設	旧手宮鉄道施設は、明治 13 年(1880)11 月に開通した北海道最初の鉄道「幌内鉄道」の起点である旧手宮駅構内とその周辺に残された機関車庫、転車台、貯水槽、危険品庫、擁壁などからなります。 このうち明治 18 年竣工で最も傷みの激しい機関車庫三号について、平成 18 年度から修理工事を実施しています。21 年度は主に外構、設備工事と軌道の復旧などを行い、工事が完了しました。一般公開の開始は 22 年 4 月です。	小樽市
重要文化財	上國寺(じょうこくじ) 本堂	上國寺は宝暦 8 年(1758)に建てられた浄土宗のお寺で、北海道では数少ない 18 世紀にさかのぼる建築物です。 経年劣化による損傷が大きく、平成 20 年度から修理事業を実施しています。21 年度は半解体後に建物部分を揚屋し、地盤に対応するための基礎工事を行いました。また、並行して、取り外された古材の補修などの木工事も行われました。工事完了は 23 年度の予定です。	上國寺 (上ノ国町)
重要文化財	カリンバ遺跡墓坑(ぼこう) 出土品	カリンバ遺跡墓坑出土品は恵庭市カリンバ遺跡の縄文時代のお墓から出土した漆製品などの副葬品です。 21 年度は、漆塗り楡 7 点、髪輪 2 点、額輪 2 点、耳飾り輪 2 点、耳飾り 1 点、腕輪 1 点、簪(かんざし) 3 点の修理を行い、保存箱 7 点を製作しました。	恵庭市
重要文化財	蝦夷三官寺善光寺(えぞさんかんじぜんこうじ)関係資料	善光寺は、蝦夷地で死亡した武士、商人や出稼ぎ人などの供養及び邪宗門禁制のため、江戸時代に建立されました。 21 年度は、紙本墨書「代愚舌」1 点の修理及び重要文化財の収納具 2 点の製作を行うとともに昨年度から着工していた収蔵施設が完成しました。平成 22 年度秋に、開館の予定です。	善光寺 (伊達市)

指定文化財の保存整備



竣工した小樽市旧手宮鉄道施設機関車庫三号



上國寺本堂の修理工事



蝦夷三官寺善光寺収蔵施設

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
特別史跡	五稜郭跡	五稜郭は、中世ヨーロッパの城塞都市をモデルに、元治元年(1864)に作られた洋式城郭です。 平成 17 年から遺構を確認するための発掘調査、石垣の修復を継続して実施しています。また、19 年度から箱館奉行所庁舎の復元整備事業にも着手し、21 年度も継続しています。奉行所は 22 年度に完成し公開する予定です。	函館市
史 跡	福山城跡	福山城は松前城とも呼ばれ、安政元年(1854)に完成した我が国最北の城です。外国船対策(海防)を目的とした台場が城内外にありました。 21 年度は今後の整備のため、堀廻り地区の調査を実施し、石垣の根石や絵図面にある柵列を確認しました。	松前町
史 跡	最寄貝塚	最寄貝塚は、網走川がオホーツク海に注ぐ河口左岸の砂丘上にあるオホーツク文化を中心とする遺跡です。 21 年度は史跡の境界にフェンスを設置し、今後の整備のための水位や地質調査を実施しました。また、15～21 年度に実施した整備事業報告書も刊行しました。	網走市
史 跡	上之国館跡	上之国館跡は 16 世紀頃に築かれた勝山館跡・洲崎館跡・花沢館跡をあわせて平成 18 年に追加・統合指定されたものです。 21 年度は勝山館跡の旧道路や荒神堂跡を確認するための発掘調査を実施し、散策路に手摺りを設置しました。調査の結果、お堂と思われる建物跡が確認されました。	上ノ国町
史 跡	大船遺跡	大船遺跡は、大舟川左岸の台地にある縄文時代中期の遺跡で、平成 13 年に国の史跡に指定されました。 21 年度は竪穴住居跡を復元整備し、説明板・案内板を設置しました。	函館市
史 跡	琴似屯田兵村兵屋跡	琴似屯田兵村は明治 8 年(1875)に設けられた最初の兵村で、学校や練兵場の他に 208 戸の兵屋が作られました。一戸の兵屋の敷地は 150 坪、農地は 5000 坪ありました。兵屋は老朽化が進んでいたため、21 年度に修理に向けた設計を行い、修理工事は 22 年度に実施する予定です。	札幌市
史 跡 天然記念物	標津遺跡群 標津湿原	標津遺跡群は縄文時代からアイヌ文化期にかけての竪穴住居跡やチャシ跡が確認されています。また、標津湿原は標津川下流とポー川に挟まれた地域にあり、エゾゴ	標津町

		ゼンタチバナなど80種類の湿原植物が生育しています。 21年度は継続事業として、遺跡の内容を確認するための発掘調査、境界標の設置、湿原の景観を復元する排根線の除去を実施しました。調査の結果、縄文時代の住居跡・墓・盛土遺構などが確認されました。	
名 勝	旧岩船氏庭園 (香雪園)	旧岩船氏庭園(香雪園)は、道内有数の呉服商であった岩船家が明治31年(1898)(一説に明治28年ともいう)頃から湯川地区に造成した和洋織り交ぜた大規模で本格的な庭園です。 21年度は温室の修理や木橋の架け替え工事を実施し、整備事業は終了しました。	函館市
史 跡	上之国館跡	史跡上之国館跡を良好な状態で保存し、後世に伝えて行くため、保存管理計画の作成作業を進めました。計画は22年度に策定予定です。	上ノ国町



史跡上之国館跡勝山館跡

お堂の跡

(石のある場所に柱を立てました)



史跡標津遺跡群

縄文時代の住居跡



史跡琴似屯田兵村兵屋跡

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
重要伝統的 建造物群	函館市元町末 広町重要伝統 的建造物群保 存地区	函館市元町末広地区は旧外国公館や寺院・教会、レンガ造の倉庫群、上下和洋折衷の町家などが建ちならび、異国情緒の濃い町並みを形成しています。 この歴史的な町並みを大切に守るため、選定となった平成元年度から建築物所有者の理解と協力を得ながら、伝統的建造物の修理、一般建築物の修景、環境物件の復旧などを継続的に行っています。21年度は、市水商会主屋など6件の修理事業を実施しました。	函館市
重要文化的 景観	アイヌの伝統 と近代開拓に よる沙流川流 域の文化的景 観	「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」は、アイヌ文化の諸要素を現在に至るまでとどめながら、開拓期以降の農林業に伴う土地利用がその上に展開することによって、多文化の重層としての様相を示す極めて貴重な文化的景観です。 21年度は、博物館に隣接するチセの改築や現地説明会や特別展の開催、文化的景観解説リーフレット・マップ作製等の普及啓発事業を行いました。	平取町



函館市元町末広町伝統的建造物群保存地区

市水商会主屋（左）

和洋折衷様式の店舗

カトリック元町教会聖堂主屋（右）

洋風様式の教会



平取町重要文化的景観

チセの修景

◆チセはアイヌ語で家のことです。このチセは地域のアイヌ文化振興に活用される場であり、建築技術を継承する意味もあります。

7 埋蔵文化財保護のための事前協議

土木工事などによって土地を掘り返すと、土地に埋まっている文化財（埋蔵文化財）を破壊してしまうことがあります。

このような破壊を避けるため、開発・建設などの事業者と北海道・市町村の教育委員会とが前もって協議をおこない、工事が埋蔵文化財に影響を与えるかどうかを判断したうえ、できるかぎりの調整をおこなっています。これを「埋蔵文化財保護のための事前協議」と呼びます。

工事の前に、まず予定地を歩いて文化財の有無などを確かめることを「所在調査」と呼びます。計画中の工事などが埋蔵文化財に影響を与えるかどうか判断する目的で、実際に一部を掘って、文化財の有無・深さ・内容などを調べることを「試掘調査」と言います。

北海道教育委員会ではこのような開発や工事から埋蔵文化財を保護するため、9,420.798ha について所在調査を、233,821ha について試掘調査を実施し、開発計画の変更や事前の発掘調査を求めるなどの調整を図りました。

埋蔵文化財保護のための事前協議の流れ（概要）

① 工事や開発を計画



②  埋蔵文化財包蔵地（遺跡）の分布状況を調べます

※北海道ではインターネットで遺跡分布図を公開しています

【北の遺跡案内】 <http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm>

- ・周知の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）内や隣接地での工事の場合
- ・土砂採取、ゴルフ場建設などの1haを超える大規模な開発行為の場合

③  埋蔵文化財保護のための事前協議書提出(工事等の計画者→市町村→道教委へ)

④ 所在調査（市町村・北海道教育委員会実施）



遺跡がありそうな地形かどうか判断します。
(川や海のそばの高台は特に要注意！)

土器・石器などが落ちていないか
実際に現地を歩いてみて調査します。



→遺跡が所在しない場合は着工



⑤ 試掘調査 (市町村・北海道教育委員会実施)



重機・スコップなどで地面を掘ってみます。

掘った土の中に土器・石器等があるか
調べます。



昔の家(竪穴住居)やお墓の跡があるか調べます。 (出土した土器、約 2000 年前のもの)
(中央の黒い土のシミが、縄文時代の穴の跡)



→遺跡が所在しない場合は着工可

⑥ 試掘調査の結果と工事の内容から、どのような保護が必要か判断します。
(北海道教育委員会など)

- (1)現状保存 工事計画を変更して遺跡を保存する。
- (2)発掘調査 工事の前に発掘調査を行う。
- (3)工事立会 工事の際に市町村・北海道教育委員会職員が立ち会う。
- (4)慎重工事 遺跡に影響の少ない工事を行う。



⑦ 工事等の計画者に文書でお知らせします。

8 埋蔵文化財の保護(国庫補助事業)

開発が予想される地域の埋蔵文化財の所在・範囲などを明らかにし、埋蔵文化財を保護するため、市町村教育委員会が主体となって国庫補助を活用し、発掘調査や分布調査などを行いました。

種 別	名 称	事 業 内 容	事業者
埋蔵文化財	市内遺跡	縄文時代の馬蹄形の盛土が確認されている垣ノ島 A 遺跡の発掘調査、開発が予想される 2 カ所の所在調査を実施し、豊原 2 遺跡の報告書を作成しました。垣ノ島 A 遺跡では縄文時代前期を主体とする住居跡 8 軒などが確認されました。	函館市
埋蔵文化財	町内遺跡	開発行為が予想される 10 カ所の所在調査、6 カ所の試掘調査を実施しました。	美幌町
埋蔵文化財	町内遺跡	縄文時代の環状列石がある史跡鷲ノ木遺跡の広がりを確認するための分布調査を実施しました。調査の結果、縄文時代の土器・石器等が出土しました。	森町
埋蔵文化財	町内遺跡	幕末に急きょ作られた松前藩の城である館城の堀・土塁・柵列などの残り具合や、米倉跡を確認するため発掘調査を実施しました。調査の結果、城主が生活していた「奥御殿」と推測される建物跡が確認されました。	厚沢部町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される 8 カ所の所在調査と、23 カ所の試掘調査を行い、事業者との調整を図り、調査結果をまとめた報告書を作成しました。	札幌市
埋蔵文化財	町内遺跡	史跡福山城の石垣を切り出した神明石切り場跡の発掘調査と、史跡の広がりを確認する試掘調査を実施しました。調査の結果、中国製の陶磁器などが出土しました。	松前町
埋蔵文化財	市内遺跡	開発行為が予想される 2 カ所の試掘調査を行い事業者との調整を図りました。また、3 地区の分布調査を行い新たに 3 カ所の遺跡を確認しました。このうち 2 遺跡からは縄文時代の落とし穴が確認されました。	苫小牧市
埋蔵文化財	町内遺跡	平成 11～20 年の発掘調査で出土した刀子や鉄鍋、釘など鉄製品の保存処理を行いました。	陸別町
埋蔵文化財	町内遺跡	縄文時代の貝塚がある国指定史跡入江・高砂貝塚の範囲や内容を確認するための発掘調査を実施しました。調査の結果、縄文時代の土器・石器等が出土しました。	洞爺湖町
埋蔵文化財	市内遺跡	住宅建設に先立って、遺跡の発掘調査を実施しました。調査の結果、縄文時代晩期の土坑 9 基、焼土 5 カ所、柱	恵庭市

		穴などが確認されました。	
埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	高規格道路建設にともなう発掘調査などで出土した大量の石器の埋蔵文化財を展示し、普及活用事業を実施するため、旧白滝村役場を改修し埋蔵文化財センターとする工事を実施しました。22 年度には完成予定です。	遠軽町
埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	史跡ユクエピラチャン跡に関する展示会を 2 ヲ所で実施し、あわせてリーフレットを作成しました。	陸別町
埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	森町内に所在する遺跡に関する展示会を開催したほか、縄文文化や森町の歴史についての解説書を作成しました。	森町
埋蔵文化財	埋蔵文化財保存活用	千歳市内から出土した土器・石器などの埋蔵文化財を展示し、普及活用事業を実施するため、旧長都中学校を改修して埋蔵文化財センターとする工事を平成 20 年度から実施し、21 年度に完成しました。	千歳市



恵庭市 発掘調査状況



厚沢部町館城跡

建物跡

(石のある場所に柱を立てました)



松前町大館遺跡出土遺物

左：福井県で作られたすり鉢

右：中国で作られた陶磁器

9 発掘調査

平成 21 年度は北海道内で 85 件、89,169 m²の発掘調査が実施されました。内訳は次のとおりです。

調査主体	件数	調査面積
市町村教育委員会	55	47,848 m ²
財団法人北海道埋蔵文化財センター	14	34,934 m ²
大学・博物館等	16	6,387 m ²



竪穴住居の調査（厚真町ヲ チャラセナイ遺跡）

今年度の発掘調査では、縄文時代前期末葉の竪穴住居跡が 1 軒検出されました。



貝塚の調査（史跡東釧路貝 塚）

遺跡東側の法面修復に伴う調査で、縄文時代前期の小貝塚ブロックが見つかりました。貝の種類はアサリが 9 割以上を占め、オットセイなどの海獣骨が多く出土しています。

出土した遺物には土器や石器のほか、銚頭・刺突具・

骨針・錐などの道具や、ヘアーピンや管玉のような装飾品も見つかっています。

平成 21 年度の発掘調査の概要は→

<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shichousongaiyou-h21.htm>

をご覧ください。

Ⅱ 資 料 編

1 文化財

(1)文化財の指定状況(国指定・道指定)

国 道	区 分	種 別	地域を定めず	石 狩	渡 島	檜 山	後 志	空 知	上 川	宗 谷	留 萌	網 走	胆 振	日 高	十 勝	釧 路	根 室	国 保 有	計
国	指 定	国宝			1														1
		重要文化財		13	13	5	3		1	1	2	1	3	1	1	2		5	51
		重要無形文化財																	0
		重要有形民俗文化財		1	1						1			1					4
		重要無形民俗文化財		1															1
		特別史跡			1														1
		史跡		8	9	2	6	1			1	4	6	1	2	6	3		49
		名勝		※1	1				1	※1		1							3
		特別天然記念物	1	1					1				1	1		1			6
		天然記念物	14	2	2	2	2	2	2		2	1	1	2	1	5	3		41
		小計	15	26	28	9	11	3	5	1	6	7	11	6	4	14	6	5	157
	選 定	重要伝統的建造物群保存地区			1														1
		重要文化的景観												1					1
		小計	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
	登 録	有形文化財（建造物）		16	9	1	11	24	10	2		6	6	1	6	1	8		101
		記念物			1														1
		小計	0	16	10	1	11	24	10	2	0	6	6	1	6	1	8	0	102
道	指 定	有形文化財		6	32	7	5	3		3	2	2	4	1	4	2	3		74
		有形民俗文化財		2	1	3													6
		無形民俗文化財			2	5													7
		史跡			4	1	3	1	1	2		5	2	2	4	1			26
		名勝							1			1							2
		天然記念物			2	1		4	1	5		5	1	1	7	1	3		31
		小計	0	8	41	17	8	8	3	10	2	13	7	4	15	4	6	0	146
合 計			15	50	80	27	30	35	13	14	8	26	24	12	25	19	20	5	407

※国指定名勝の※印は指定件数が1件のため計、小計に加算していない。

・北海道の文化財→<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo.htm>

(2) 国指定文化財一覧

国指定文化財とは、文化財保護法に基づき、文化審議会の答申を受けて、文部科学大臣が指定して保存を図る文化財です。

〔国宝〕

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	土偶（北海道函館市著保内野遺跡出土）	函館市	H19. 6. 8

〔重要文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	太刀 銘国俊	札幌市	S8. 1. 23
2	八窓庵（旧舎那院忘筌）	札幌市	S11. 9. 18
3	福山城（松前城）本丸御門	松前町	S16. 5. 8
4	紙本墨書後鳥羽天皇宸翰熊野懷紙（山路眺望暮里神楽）	帯広市	S25. 8. 29
5	浜松千鳥図罽 銘安親	北見市	S30. 2. 2
6	刀 無銘伝来国行	札幌市	S31. 6. 28
7	土偶（北海道室蘭市輪西町出土）	室蘭市	S37. 6. 21
8	豊平館	札幌市	S39. 5. 26
9	木造大日如来坐像（本堂安置）	函館市	S42. 6. 15
10	北海道庁旧本庁舎	札幌市	S44. 3. 12
11	旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市	S44. 3. 12
12	北海道大学農学部（旧東北帝国大学農科大学）第二農場	札幌市	S44. 8. 19
13	旧札幌農学校演武場（時計台）	札幌市	S45. 6. 17
14	旧三戸部家住宅	伊達市	S46. 12. 28
15	旧花田家番屋	小平町	S46. 12. 28
16	旧下ヨイチ運上家	余市町	S46. 12. 28
17	旧中村家住宅	江差町	S46. 12. 28
18	太刀川家住宅店舗	函館市	S46. 12. 28
19	人形装飾異形注口土器（北海道上磯郡上磯町茂辺地出土）	北斗市	S48. 6. 6
20	旧函館区公会堂	函館市	S49. 5. 21
21	動物形土製品（北海道千歳市美々第四遺跡出土）	千歳市	S54. 6. 6
22	函館ハリストス正教会復活聖堂	函館市	S58. 6. 2
23	土面（北海道千歳市真々地町ママチ遺跡第三一〇号土墳墓出土）	千歳市	S63. 6. 6
24	旧旭川偕行社	旭川市	H1. 5. 19
25	北海道大学農学部植物園・博物館	札幌市	H1. 5. 19
26	北海道美利河 1 遺跡出土品	今金町	H3. 6. 21
27	北海道湯の里 4 遺跡土墳出土品	知内町	H3. 6. 21

28	龍雲院	松前町	H4. 1. 21
29	旧笹浪家住宅	上ノ国町	H4. 1. 21
30	正行寺本堂	厚岸町	H4. 1. 21
31	法源寺山門	松前町	H5. 4. 20
32	上國寺本堂	上ノ国町	H5. 4. 20
33	北海道江別太遺跡出土品	江別市	H5. 6. 10
34	北海道元江別 1 遺跡土墳墓出土品	江別市	H7. 6. 15
35	北海道コタン温泉遺跡出土品	八雲町	H9. 6. 30
36	北海道目梨泊遺跡出土品	枝幸町	H12. 6. 27
37	遺愛学院（旧遺愛女学校） 旧宣教師館 本館	函館市	H13. 6. 15 H16. 12. 10
38	旧手宮鉄道施設	小樽市	H13. 11. 14
39	北海道志海苔中世遺構出土銭	函館市	H15. 5. 29
40	旧本間家住宅	増毛町	H15. 12. 25
41	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
42	北海道有珠モシリ遺跡出土品	伊達市	H16. 6. 8
43	箱館奉行所文書	札幌市（北海道立 文書館）	H16. 6. 8
44	北海道美々 8 遺跡出土品	江別市（北海道立埋 蔵文化財センター）	H17. 6. 9
45	蝦夷三官寺善光寺関係資料	伊達市	H17. 6. 9
46	蝦夷三官寺等澍院関係資料	様似町	H17. 6. 9
47	蝦夷三官寺国泰寺関係資料	厚岸町	H17. 6. 9
48	北海道カリンバ遺跡墓坑出土品	恵庭市	H18. 6. 9
49	銀板写真（松前勘解由と従者像）附添状	松前町	H18. 6. 9
50	大谷派本願寺函館別院	函館市	H19. 12. 4
51	北海道上之国勝山館出土品	上ノ国町	H20. 7. 10

※国保有重要文化財（No.7・19 東京国立博物館保管、No.23 北海道立埋蔵文化財センター、No.34 江別市郷土資料館、No.41 伊達市教育委員会）

〔重要有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌのまるきぶね	札幌市	S32. 6. 3
2	アイヌの生活用具コレクション	函館市	S34. 5. 6
3	留萌のニシン漁撈(旧佐賀家漁場)用具	留萌市	H7. 12. 26
4	北海道二風谷および周辺地域のアイヌ生活用具コレクション	平取町	H14. 2. 12

〔重要無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	アイヌ古式舞踊	白老町・平取町・新ひだか町・旭川市 浦河町・帯広市・釧路市・札幌市・千歳市 むかわ町・日高町・新冠町・様似町 弟子屈町・白糠町	S59. 1. 21

〔特別史跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	五稜郭跡	函館市	S27. 3. 29

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	手宮洞窟	小樽市	T10. 3. 3
2	四稜郭	函館市	S9. 1. 22
3	東蝦夷地南部藩陣屋跡 モロラン陣屋跡 ヲシヤマンベ陣屋跡 砂原陣屋跡	室蘭市 長万部町 森町	S9. 5. 1 S49. 8. 22 S49. 8. 22
4	志苔館跡	函館市	S9. 8. 9
5	松前氏城跡 福山城跡 館城跡	松前町 厚沢部町	S10. 6. 7 H14. 9. 20
6	モシリヤ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
7	春採台地竪穴群	釧路市	S10. 12. 24
8	鶴ヶ岱チャランケ砦跡	釧路市	S10. 12. 24
9	桂ヶ岡砦跡	網走市	S10. 12. 24
10	最寄貝塚	網走市	S11. 12. 16
11	フゴッペ洞窟	余市町	S28. 11. 14
12	音江環状列石	深川市	S31. 12. 28
13	忍路環状列石	小樽市	S36. 3. 10
14	松前藩戸切地陣屋跡	北斗市	S40. 3. 18
15	白老仙台藩陣屋跡	白老町	S41. 3. 3
16	開拓使札幌本庁本庁舎跡および旧北海道庁本庁舎	札幌市	S42. 12. 15
17	東釧路貝塚	釧路市	S45. 7. 22
18	旧下ヨイチ運上家	余市町	S48. 7. 31
19	国泰寺跡	厚岸町	S48. 10. 29
20	常呂遺跡	北見市	S49. 3. 12
21	善光寺跡	伊達市	S49. 5. 23

22	標津遺跡群 伊茶仁カリカリウス遺跡 古道遺跡 三本木遺跡	標津町	S51. 6. 21 S54. 5. 22 H1. 10. 20
23	西月ヶ岡遺跡	根室市	S51. 8. 28
24	大館跡	松前町	S52. 4. 5
25	上之国館跡 花沢館跡 洲崎館跡 勝山館跡	上ノ国町	S52. 4. 12 S52. 4. 12 H18. 3. 31
26	北斗遺跡	釧路市	S52. 7. 14
27	ウサクマイ遺跡群	千歳市	S54. 5. 23
28	キウス周堤墓群	千歳市	S54. 10. 23
29	オタフンベチャシ跡	浦幌町	S56. 8. 29
30	松前藩主松前家墓所	松前町	S56. 11. 21
31	旧余市福原漁場	余市町	S57. 2. 12
32	琴似屯田兵村兵屋跡	札幌市	S57. 5. 7
33	茂別館跡	北斗市	S57. 7. 3
34	根室半島チャシ跡群	根室市	S58. 4. 26
35	旧島松駅通所	北広島市	S59. 7. 25
36	静川遺跡	苫小牧市	S62. 1. 8
37	ユクエピラチャシ跡	陸別町	S62. 9. 8
38	北黄金貝塚	伊達市	S62. 12. 25
39	入江・高砂貝塚	洞爺湖町	S63. 5. 13
40	荘内藩ハママシケ陣屋跡	石狩市	S63. 5. 17
41	白滝遺跡群	遠軽町	H1. 1. 9
42	ピリカ遺跡	今金町	H6. 4. 26
43	旧留萌佐賀家漁場	留萌市	H9. 3. 11
44	シベチャリ川流域チャシ跡群およびアップペツチャシ跡	新ひだか町・日高町	H9. 12. 2
45	江別古墳群	江別市	H10. 9. 11
46	大谷地貝塚	余市町	H12. 11. 20
47	大船遺跡	函館市	H13. 8. 13
48	カリンバ遺跡	恵庭市	H17. 3. 2
49	鷲ノ木遺跡	森町	H18. 1. 26

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	天都山	網走市	S13. 12. 14
2	旧岩船氏庭園（香雪園）	函館市	H13. 8. 13
3	ピリカノカ 九度山（クトゥンヌプリ） 黄金山（ピンネタイオルシペ） 神威岬（カムイエトゥ）	名寄市 石狩市 枝幸町・浜頓別町	H21. 7. 23 H21. 7. 23 H22. 2. 22

〔特別天然記念物〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	阿寒湖のマリモ（植物）	釧路市	S27. 3. 29
2	野幌原始林（植物）	北広島市	S27. 3. 29
3	アポイ岳高山植物群落（植物）	様似町	S27. 3. 29
4	昭和新山（地質）	壮瞥町	S32. 6. 19
5	大雪山（天然保護区域）	上川町・東川町・美瑛町・新得町	S52. 3. 15
6	タンチョウ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S27. 3. 29

〔天然記念物〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	後方羊蹄山の高山植物帯（植物）	倶知安町・京極町・喜茂別町・真狩村・ニセコ町	T10. 3. 3
2	円山原始林（植物）	札幌市	T10. 3. 3
3	藻岩原始林（植物）	札幌市	T10. 3. 3
4	ヒノキアスナロおよびアオトドマツ自生地（植物）	江差町	T11. 10. 12
5	霧多布泥炭形成植物群落（植物）	浜中町	T11. 10. 12
6	登別原始林（植物）	登別市	T13. 12. 9
7	鶺鴒川ゴヨウマツ自生北限地帯（植物）	厚沢部町	S3. 2. 7
8	オオミズナギドリ繁殖地（動物・鳥類）	松前町	S3. 3. 24
9	歌オブナ自生北限地帯（植物）	黒松内町	S3. 10. 22
10	春採湖ヒブナ生息地（動物・魚類）	釧路市	S12. 12. 21
11	北海道犬（動物・犬類）	—	S12. 12. 21
12	天売島海鳥繁殖地（動物・鳥類）	羽幌町	S13. 8. 8
13	名寄鈴石（鉱物）	名寄市	S14. 9. 7
14	名寄高師小僧（鉱物）	名寄市	S14. 9. 7
15	根室車石（地質）	根室市	S14. 9. 7
16	落石岬のサカイツツジ自生地（植物）	根室市	S15. 2. 10
17	幌満ゴヨウマツ自生地（植物）	様似町	S18. 8. 24

18	和琴ミンミンゼミ発生地（動物・昆虫）	弟子屈町	S26. 6. 9
19	大黒島海鳥繁殖地（動物・鳥類）	厚岸町	S26. 6. 9
20	ウスバキチョウ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
21	ダイセツタカネヒカゲ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
22	アサヒヒョウモン（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
23	クマゲラ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S40. 5. 12
24	イヌワシ（動物・鳥類）	主な生息地宮城県	S40. 5. 12
25	カラフトルリシジミ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S42. 5. 2
26	釧路湿原（天然保護区域）	標茶町・鶴居村・釧路町	S42. 7. 6
27	オジロワシ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・新潟県	S45. 1. 23
28	オオワシ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・石川県・福井県	S45. 1. 23
29	沙流川源流原始林（天然保護区域）	日高町	S45. 12. 4
30	エゾシマフクロウ（動物・鳥類）	主な生息地北海道	S46. 5. 19
31	コクガン（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・秋田県	S46. 5. 19
32	ヒシクイ（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
33	マガン（動物・鳥類）	主な生息地北海道・青森県・宮城県・新潟県・石川県	S46. 6. 28
34	女満別湿生植物群落（植物）	大空町	S47. 6. 14
35	松前小島（天然保護区域）	松前町	S47. 12. 12
36	ヒメチャマダラセセリ（動物・蝶類）	主な生息地北海道	S50. 2. 13
37	エゾミカサリュウ化石（鉱物）	三笠市	S52. 7. 16
38	標津湿原（天然保護区域）	標津町	S54. 8. 7
39	焼尻の自然林（植物）	羽幌町	S58. 8. 30
40	夕張岳の高山植物群落および蛇紋岩メランジュ帯（植物・地質）	夕張市・南富良野町	H8. 6. 19
41	オンネトー湯の滝マンガン酸化物生成地（地質・植物）	足寄町	H12. 9. 6

〔重要文化的景観〕

No.	名 称	所 在 地	選定年月日
1	アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観	平取町	H19. 7. 26

・国指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-bunkagaiyo.htm>

(3) 道指定文化財一覧

道指定文化財とは、北海道文化財保護条例に基づき、北海道文化財保護審議会の答申を受けて、北海道教育委員会が指定して保存を図る文化財です。

〔有形文化財〕

(平成 22 年 3 月 31 日現在)

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	樽岸出土の石器	函館市	S32. 12. 20
2	野幌屯田兵第二中隊本部	江別市	S33. 4. 10
3	阿弥陀如来立像	恵庭市	S34. 2. 24
4	釈迦如来立像	伊達市	S34. 2. 24
5	夷曾列像粉本	函館市	S34. 2. 24
6	にしん漁場建築	小樽市	S35. 5. 31
7	旧松前城本丸表御殿玄関	松前町	S38. 7. 26
8	旧函館博物館一号	函館市	S38. 7. 26
9	旧函館博物館二号	函館市	S38. 7. 26
10	旧金森洋物店	函館市	S38. 7. 26
11	茅部の鯉供養塔	森町	S38. 12. 24
12	琴似屯田兵屋	札幌市	S39. 10. 3
13	アイヌ丸木舟および推進具	苫小牧市	S42. 6. 22
14	東蝦新道記	広尾町	S43. 1. 18
15	女満別石刃鏃遺跡出土の遺物	大空町	S43. 1. 18
16	大樹遺跡出土の遺物	大樹町	S43. 1. 18
17	漁場建築佐藤家	寿都町	S43. 3. 29
18	岩内東山円筒文化遺跡出土の遺物	岩内町	S43. 3. 29
19	静内御殿山墳墓群出土の遺物	新ひだか町	S43. 3. 29
20	石崎八幡神社の鰐口	函館市	S43. 3. 29
21	釈迦涅槃図蠣崎波響筆	函館市	S43. 3. 29
22	楳法華出土の尖底土器	函館市	S43. 3. 29
23	和田屯田兵村の被服庫	根室市	S43. 12. 18
24	日ノ浜遺跡出土の動物土偶	函館市	S45. 2. 12
25	刀銘源正雄	函館市	S45. 2. 12
26	新羅之記録	奥尻町	S45. 2. 12
27	本願寺駅通	沼田町	S46. 3. 5
28	徳山大神宮	松前町	S46. 3. 5
29	住吉町遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
30	板碑（貞治の碑）	函館市	S46. 3. 5

31	サイベ沢遺跡出土の遺物	函館市	S46. 3. 5
32	板碑（戸井町の碑）	函館市	S46. 3. 5
33	美唄屯田兵屋	美唄市	S47. 2. 17
34	礼文島出土の歯牙製女性像及び動物像	礼文町	S47. 2. 17
35	太田屯田兵屋	厚岸町	S49. 2. 28
36	天内山遺跡出土の遺物	余市町	S51. 5. 21
37	円空作観音像	釧路市	S52. 3. 11
38	円空作観音像	広尾町	S52. 3. 11
39	円空作十一面観音立像	上ノ国町	S52. 3. 11
40	円空作聖観音像	伊達市	S52. 3. 11
41	松前屏風	松前町	S52. 9. 12
42	亦稚貝塚出土の遺物	利尻町	S54. 3. 29
43	旧小納家住宅	羽幌町	S54. 11. 27
44	札幌市K－4 4 6 遺跡出土の遺物	札幌市	S55. 8. 12
45	南川遺跡出土の遺物	せたな町	S56. 3. 31
46	ホロナイポ遺跡出土の遺物	枝幸町	S56. 10. 29
47	砂館神社本殿	上ノ国町	S60. 3. 30
48	薙刀銘堀井正次	松前町	S60. 3. 30
49	熊石の山海漁獵供養塔	八雲町	S60. 3. 30
50	不動明王立像	松前町	S60. 3. 30
51	旧北海道庁函館支庁庁舎	函館市	S60. 3. 30
52	旧開拓使函館支庁書籍庫	函館市	S60. 3. 30
53	旧永山武四郎邸	札幌市	S62. 11. 27
54	木造阿弥陀如来立像	松前町	S63. 9. 10
55	木造地藏菩薩立像	八雲町	S63. 9. 10
56	幌加川遺跡出土の石器群	遠軽町	H3. 3. 30
57	木造日蓮聖人坐像	松前町	H4. 3. 31
58	法華寺寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
59	正覚院寛保津波の碑	江差町	H4. 3. 31
60	旧檜山爾志郡役所庁舎	江差町	H4. 3. 31
61	入江馬頭観世音碑	洞爺湖町	H4. 3. 31
62	木造五百羅漢像	小樽市	H6. 2. 9
63	奥行臼駅通	別海町	H6. 6. 3
64	滝里遺跡群出土遺物	芦別市	H12. 4. 14
65	絵馬カムイノミの図	豊頃町	H13. 3. 30

66	光明寺寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
67	泉龍院寛保津波の碑	松前町	H13. 3. 30
68	無量寺寛保津波の碑	八雲町	H13. 3. 30
69	宮歌村文書	福島町	H16. 9. 22
70	木造十一面観音立像	苫前町	H19. 3. 20
71	赤彩注口土器	八雲町	H19. 3. 20
72	初田牛 20 遺跡出土の土偶及び墓坑出土遺物	根室市	H20. 3. 18
73	大乘妙典一千部供養塔	北斗市	H22. 3. 16
74	知里幸恵ノート	江別市(北海道立図書館)	H22. 3. 16

〔有形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差姥神町横山家	江差町	S38. 12. 24
2	江差町姥神神社祭礼山車神功山人形および附属品	江差町(神功山保存会)	S38. 12. 24
3	江差町姥神神社祭礼山車松宝丸	江差町(松宝丸保存会)	S38. 12. 24
4	求福山山車の人形その他附属品	松前町	S52. 9. 11
5	石狩弁天社の鮫様(妙亀・法鮫大明神像)	石狩市	H19. 3. 20
6	金龍寺の鮫様(龍神・妙亀菩薩・鮫神像)	石狩市	H19. 3. 20

〔無形民俗文化財〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	江差沖揚げ音頭	江差町	S52. 3. 11
2	五勝手鹿子舞	江差町	S52. 3. 11
3	松前祇園ばやし	松前町	S52. 3. 11
4	江差追分	江差町	S52. 4. 13
5	江差三下り	江差町	S57. 6. 30
6	江差餅つき囃子	江差町	S57. 6. 30
7	松前神楽	松前町・福島町・函館市・小樽市	H20. 6. 13

〔史 跡〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	地鎮山環状列石	小樽市	S25. 8. 28
2	西崎山環状列石	余市町	S26. 9. 6
3	浦幌新吉野台細石器遺跡	浦幌町	S26. 9. 6

4	宗谷の護国寺跡	稚内市	S32. 1. 29
5	斜里朱円周堤墓及び出土遺物	斜里町	S32. 1. 29
6	神居古潭竪穴住居遺跡	旭川市	S32. 12. 20
7	静内御殿山墳墓群	新ひだか町	S38. 12. 24
8	門別富仁家墳墓群	日高町	S38. 12. 24
9	オムサロ台地竪穴群	紋別市	S39. 10. 3
10	十勝ホロカヤントー竪穴群	大樹町	S41. 7. 7
11	浜頓別クッチャロ湖畔竪穴群	浜頓別町	S41. 7. 7
12	鶴川盛土墳墓群	むかわ町	S41. 7. 7
13	厚岸神岩砦跡及び竪穴群	厚岸町	S41. 7. 7
14	開拓使三角測量勇払基点	苫小牧市	S42. 3. 17
15	古武井熔鉱炉跡	函館市	S42. 3. 17
16	女那川煉瓦製造所跡	函館市	S42. 3. 17
17	恵山貝塚	函館市	S42. 3. 17
18	シブノツナイ竪穴住居跡	湧別町	S42. 3. 17
19	朱円竪穴住居跡群	斜里町	S42. 6. 22
20	岩内東山円筒文化遺跡	岩内町	S43. 3. 29
21	興部豊野竪穴住居跡	興部町	S43. 12. 18
22	十勝オコッペ遺跡	浦幌町	S51. 5. 21
23	十勝太遺跡群	浦幌町	S51. 5. 21
24	野花南周堤墓群	芦別市	H12. 4. 14
25	開拓使三角測量一本木基点	北斗市	H16. 9. 22
26	青苗砂丘遺跡	奥尻町	H20. 3. 18

〔名 勝〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	小清水海岸	小清水町	S26. 9. 6
2	羽衣の滝	東川町	S26. 9. 6

〔天然記念物〕

No.	名 称	所 在 地	指定年月日
1	斜里海岸の草原群落	斜里町	S25. 8. 28
2	中頓別鍾乳洞	中頓別町	S32. 1. 29
3	佐呂間湖畔鶴沼のアッケシソウ群落	湧別町	S32. 1. 29
4	温根湯エゾムラサキツツジ群落	北見市	S32. 1. 29
5	礼文島桃岩付近一帯の野生植物	礼文町	S34. 9. 11

6	当麻鍾乳洞	当麻町	S36. 3. 17
7	札内川流域化粧柳自生地	帯広市	S37. 4. 3
8	更別湿原のヤチカンバ	更別村	S38. 7. 26
9	ユルリ・モユルリ島海鳥繁殖地	根室市	S38. 10. 15
10	羅臼のひかりごけ	羅臼町	S38. 12. 24
11	大津海岸トイトツキ浜野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
12	大津海岸長節湖畔野生植物群落	豊頃町	S38. 12. 24
13	雨竜沼高層湿原帯	雨竜町	S39. 10. 3
14	白滝の流紋岩球類	遠軽町	S39. 10. 3
15	二股温泉の石灰華	長万部町	S40. 6. 14
16	樽前山熔岩円頂丘	苫小牧市	S42. 3. 17
17	大正のカシワ林	帯広市	S43. 1. 18
18	茅部の栗林	森町	S43. 1. 18
19	新冠泥火山	新冠町	S43. 1. 18
20	羅臼の間歇泉	羅臼町	S43. 3. 19
21	利尻島のチシマザクラ自生地	利尻町	S43. 12. 18
22	然別湖のオショロコマ生息地	鹿追町・上士幌町	S43. 12. 18
23	稚咲内海岸砂丘林	豊富町	S46. 4. 21
24	厚岸床潭沼の緋鮒生息地	厚岸町	S47. 4. 1
25	乙部鮪ノ岬の安山岩柱状節理	乙部町	S47. 4. 1
26	オシュンコシュン粗粒玄武岩柱状節理	斜里町	S48. 3. 14
27	夕張の石炭大露頭	夕張市	S49. 12. 6
28	帯広畜産大学農場の構造土十勝坊主	帯広市	S49. 12. 6
29	タキカワカイギウ化石標本	滝川市	S59. 3. 12
30	レブンアツモリソウ群生地	礼文町	H6. 6. 3
31	黄金水松	芦別市	H14. 3. 29

・道指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-do-sitei.htm>

(4) 管内別市町村指定文化財一覧

管内	有形文化財(建造物)		有形文化財 (美術工芸品)	無形文化財	民俗文化財		史跡	名勝	天然記念物	伝統的建造物群	計
	件数	(棟数)			有形	無形					
石狩	8	(8)	22	1	2	3	5	0	1	0	42
渡島	2	(2)	107	0	12	15	9	4	8	0	157
桧山	7	(10)	50	0	9	13	4	1	1	0	85
後志	8	(8)	28	1	0	11	26	2	10	0	86
空知	15	(16)	35	3	4	17	10	0	10	0	94
上川	15	(15)	19	2	0	10	16	0	21	0	83
留萌	2	(2)	4	0	4	7	42	0	1	0	59
宗谷	15	(15)	13	0	0	2	14	0	7	0	51
網走	8	(8)	12	0	3	1	6	0	7	0	38
胆振	9	(9)	42	0	12	15	22	0	15	0	115
日高	1	(1)	17	5	0	0	1	1	1	0	27
十勝	3	(3)	37	1	1	8	6	0	15	0	71
釧路	3	(3)	14	2	0	2	6	0	14	0	41
根室	2	(6)	14	0	1	2	6	0	21	0	46
合計	98	(106)	414	15	48	106	174	8	132	0	995

・市町村指定文化財一覧は→

<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/NR/rdonlyres/2687E7F2-5763-4874-9E05-C79B0D4B8CCF/0/itiran220331.pdf>

(5) 管内別登録文化財

管内	有形文化財	記念物
石狩	16	0
渡島	9	1
桧山	1	0
後志	11	0
空知	24	0

管内	有形文化財	記念物
上川	10	0
留萌	0	0
宗谷	2	0
網走	6	0
胆振	6	0

管内	有形文化財	記念物
日高	1	0
十勝	6	0
釧路	1	0
根室	8	0
合計	101	1

(6) 登録文化財一覧

登録文化財とは、文化財保護法に基づき、国・地方公共団体指定以外の有形文化財(建造物)もしくは記念物(名勝)のうち、保存活用のための措置が特に必要なものを文部科学大臣が文化財登録原簿に登録して保存を図るものです。

〔有形文化財〕

(平成22年3月31日現在)

No.	名 称	所在地	登録年月日
-----	-----	-----	-------

1	札幌市資料館（旧札幌控訴院）	札幌市	H9. 5. 7
2	五島軒本店旧館	函館市	H9. 5. 7
3	北海道大学古河記念講堂（旧東北帝国大学農科大学林学科教室）	札幌市	H9. 9. 3
4	旧国鉄根北線越川橋梁	斜里町	H10. 7. 23
5	北星学園創立百周年記念館（旧北星女学校宣教師館）	札幌市	H10. 9. 2
6	日本キリスト教団札幌教会（旧札幌美以教会堂）	札幌市	H10. 9. 2
7	室蘭市旧室蘭駅舎	室蘭市	H11. 7. 8
8	旧国鉄士幌線勇川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
9	旧国鉄士幌線第三音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
10	旧国鉄士幌線第五音更川橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
11	旧国鉄士幌線十三の沢橋梁	上士幌町	H11. 8. 23
12	北海道知事公館（旧三井クラブ）	札幌市	H11. 10. 14
13	杉野目家住宅	札幌市	H11. 10. 14
14	旧丹波屋旅館和館	中頓別町	H12. 2. 15
15	旧丹波屋旅館洋館	中頓別町	H12. 2. 15
16	北海道大学農学部博物館バチエラー記念館	札幌市	H12. 4. 28
17	北海道大学附属植物園庁舎（旧札幌農学校動植物学教室）	札幌市	H12. 4. 28
18	北海道大学旧札幌農学校昆虫及養蚕学教室	札幌市	H12. 4. 28
19	北海道大学旧札幌農学校図書館読書室	札幌市	H12. 4. 28
20	北海道教育大学函館校北方教育資料室（旧函館師範学校）	函館市	H12. 4. 28
21	北海道大学農学部附属苫小牧地方演習林森林記念館（旧標本貯蔵室）	苫小牧市	H12. 4. 28
22	北海道大学文学部二風谷研究室（旧マンロー邸）	平取町	H12. 4. 28
23	北海道大学旧札幌農学校図書館書庫	札幌市	H12. 4. 28
24	プレイリー・ハウス（旧佐田邸）	函館市	H12. 4. 28
25	エドウィン・ダン記念館（旧北海道庁真駒内種畜場事務所）	札幌市	H12. 9. 26
26	函館中華会館	函館市	H13. 4. 24
27	旧西岡水源池取水塔	札幌市	H13. 8. 28
28	北海道林木育種場旧庁舎	江別市	H13. 8. 28
29	根室市明治公園第一サイロ	根室市	H13. 8. 28
30	根室市明治公園第二サイロ	根室市	H13. 8. 28
31	根室市明治公園第三サイロ	根室市	H13. 8. 28
32	旧中村平八郎家住宅主屋	むかわ町	H13. 8. 28
33	旧国鉄富内線富内駅舎	むかわ町	H13. 8. 28
34	旧国鉄富内線富内駅プラットフォーム	むかわ町	H13. 8. 28
35	旧国鉄富内線富内駅構内線路	むかわ町	H13. 8. 28

36	上川倉庫事務所	旭川市	H13. 11. 20
37	上川倉庫一号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
38	上川倉庫二号倉庫（リハーサルホール）	旭川市	H13. 11. 20
39	上川倉庫三号倉庫（チェアーズギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
40	上川倉庫八号倉庫	旭川市	H13. 11. 20
41	上川倉庫十号倉庫（デザインギャラリー）	旭川市	H13. 11. 20
42	上川倉庫十一号倉庫（大雪地ビール館）	旭川市	H13. 11. 20
43	あさでん春光整備工場（旧陸軍第七師団騎兵第七連隊覆馬場）	旭川市	H13. 11. 20
44	松岡家住宅	旭川市	H13. 11. 20
45	最創山光岸寺本堂	旭川市	H13. 11. 20
46	旧北陸銀行江別支店	江別市	H14. 2. 14
47	遺愛学院講堂	函館市	H14. 6. 25
48	石崎漁港トンネル	上ノ国町	H15. 1. 31
49	旧国鉄士幌線第六音更川橋梁	上士幌町	H15. 1. 31
50	旧国鉄士幌線音更トンネル	上士幌町	H15. 1. 31
51	ニッカウキスキー北海道工場事務所棟	余市町	H17. 2. 9
52	ニッカウキスキー北海道工場蒸溜棟	余市町	H17. 2. 9
53	ニッカウキスキー北海道工場貯蔵棟	余市町	H17. 2. 9
54	ニッカウキスキー北海道工場リキュール棟	余市町	H17. 2. 9
55	ニッカウキスキー北海道工場第一乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
56	ニッカウキスキー北海道工場第二乾燥塔	余市町	H17. 2. 9
57	ニッカウキスキー北海道工場研究室	余市町	H17. 2. 9
58	ニッカウキスキー北海道工場旧竹鶴邸	余市町	H17. 2. 9
59	ニッカウキスキー北海道工場第一貯蔵庫	余市町	H17. 2. 9
60	函館大手町ハウス（旧浅野セメント函館営業所）	函館市	H17. 7. 12
61	遺愛学院（旧遺愛女学校）謝恩館	函館市	H17. 7. 12
62	博物館網走監獄教誨堂	網走市	H17. 7. 12
63	博物館網走監獄五翼放射状平屋舎房	網走市	H17. 7. 12
64	博物館網走監獄二見ヶ岡農場	網走市	H17. 7. 12
65	J R小樽駅本屋	小樽市	H18. 3. 27
66	J R小樽駅プラットホーム	小樽市	H18. 3. 27
67	熊谷家住宅主屋	北斗市	H18. 3. 27
68	旧北炭夕張炭鉱専用鉄道高松跨線橋	夕張市	H18. 10. 18
69	旧北炭夕張炭鉱天龍坑人車斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18
70	旧北炭夕張炭鉱天龍坑資材斜坑坑口	夕張市	H18. 10. 18

71	旧北炭夕張炭鉱模擬坑道	夕張市	H18. 10. 18
72	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線拱橋	夕張市	H18. 10. 18
73	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線スキップ隧道	夕張市	H18. 10. 18
74	旧北炭夕張炭鉱高松ズリ捨線ベルト隧道西坑門	夕張市	H18. 10. 18
75	小林酒造旧事務所（蔵元北の錦記念館）	栗山町	H18. 10. 18
76	小林酒造旧ビール庫・缶詰資材庫（大正・昭和の暮らし館）	栗山町	H18. 10. 18
77	小林酒造旧精米場（酒の郷なつかしホール）	栗山町	H18. 10. 18
78	小林酒造旧資材庫（昔の酒道具展示館）	栗山町	H18. 10. 18
79	小林酒造一番蔵	栗山町	H18. 10. 18
80	小林酒造二番蔵	栗山町	H18. 10. 18
81	小林酒造三番蔵	栗山町	H18. 10. 18
82	小林酒造四番蔵	栗山町	H18. 10. 18
83	小林酒造五番蔵	栗山町	H18. 10. 18
84	小林酒造六番蔵	栗山町	H18. 10. 18
85	小林酒造製麹室	栗山町	H18. 10. 18
86	小林酒造蒸米場	栗山町	H18. 10. 18
87	小林家住宅主屋	栗山町	H18. 10. 18
88	沼田家住宅旧りんご倉庫	札幌市	H18. 11. 29
89	旧幌向駅通所	南幌町	H18. 11. 29
90	斉藤家住宅（旧盛田家住宅）主屋	森町	H19. 7. 31
91	順誓寺本堂	津別町	H19. 7. 31
92	北村家住宅主屋（旧土田旅館）	中標津町	H19. 10. 2
93	星槎大学（旧頼城小学校）校舎	芦別市	H20. 3. 7
94	星槎大学（旧頼城小学校）体育館	芦別市	H20. 3. 7
95	旧上藻別駅通所	紋別市	H20. 10. 23
96	旧三井芦別鉄道炭山川橋梁	芦別市	H21. 1. 8
97	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）農具庫	中標津町	H21. 8. 7
98	北海道立根釧農業試験場（旧北海道農事試験場根室支場）種苗倉庫	中標津町	H21. 8. 7
99	伝成館（旧北海道農事試験場根室支場庁舎）	中標津町	H21. 8. 7
100	中標津町郷土館緑ヶ丘文官（旧北海道農事試験場根室支場陳列館）	中標津町	H21. 8. 7
101	正行寺鐘楼	厚岸町	H21. 8. 7

〔記念物〕

No.	名 称	所在地	登録年月日
1	函館公園	函館市	H18. 1. 26

・ 国登録文化財一覧は→<http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bun-hogo-tourokuitiran.htm>

(7)平成 21 年度北海道文化財保護強調月間実施事業一覧

[一般公開]

市町村名	公開・活用事業名	主催者
札幌市	札幌市埋蔵文化財センター企画展	札幌市埋蔵文化財センター
江別市	ロビー展 新収蔵品展	江別市郷土資料館
江別市	特別展示 動物の考古学－イノシシ・ブタからみた北海道の歴史展	(財)北海道埋蔵文化財センター
恵庭市	〈国指定 重要文化財〉 カリンバ遺跡墓坑出土品特別公開	恵庭市郷土資料館
石狩市	〈国指定 史跡〉 ハママシケ陣屋跡	石狩市教育委員会
石狩市	〈道指定 有形民俗文化財〉 金龍寺の鯨様の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 金子家古文書の特別公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 八幡町遺跡ワッカオイ第 20 号墓出土の土器の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 天然記念物〉 チョウザメの剥製の公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 旧長野商店公開	石狩市教育委員会
石狩市	〈市指定 有形文化財〉 石狩紅葉山 49 号遺跡の公開	石狩市教育委員会
函館市	〈国指定 重要有形民俗文化財〉 企画展 馬場コレクション重文指定 50 周年記念 馬場修の生涯～アイヌ民族資料収集への足跡展	函館市北方民族資料館
北斗市	特別展郷土資料館祭り 北斗市新収蔵品展	北斗市郷土資料館
松前町	〈町指定 有形文化財〉 松前藩家老 藤倉家 寄贈史料展示会	松前町教育委員会
森町	森町の遺跡展	森町教育委員会
八雲町	〈国指定 重要文化財〉 北海道コタン温泉遺跡出土品特別公開	八雲町郷土資料館
江差町	企画展 頼三樹三郎と江差八勝展	江差町郷土資料館
上ノ国町	発掘調査の速報展示	上ノ国町教育委員会
厚沢部町	厚沢部町郷土資料館特別展示 「平成 21 年度館城跡発掘調査速報展」	厚沢部町教育委員会
せたな町	〈町指定 無形民俗文化財〉 町民文化祭での久遠神楽の披露	せたな町教育委員会
小樽市	〈国指定 重要文化財〉 旧手宮鉄道施設（機関車庫 1 号、 転車台、貯水槽、擁壁等）の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 遺跡〉 北海道鉄道通起点の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 日本銀行旧小樽支店（金融資料館）の公開	金融資料館
小樽市	〈道指定 史跡〉 地鎮山環状列石の公開	小樽市総合博物館

小樽市	〈道指定 有形文化財〉 にしん漁場建築（旧田中家母屋）の公開	小樽市産業港湾部 観光振興室
小樽市	〈国指定 史跡〉 手宮洞窟の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国指定 史跡〉 忍路環状列石の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈国登録 有形文化財〉 J R 小樽駅本屋 プラットホーム	J R 北海道
小樽市	〈国指定重要文化財〉 旧日本郵船株式会社小樽支店	小樽市総合博物館
小樽市	〈道指定 有形文化財〉 木造 五百羅漢像の公開	小樽市総合博物館
小樽市	〈市指定 有形文化財〉 木造 聖観音立像の公開	小樽市総合博物館
泊村	〈村指定 有形文化財〉 鯉御殿とまりの公開	鯉御殿とまり
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 國兼家住宅の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 阿弥陀如来立像の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 石器群の公開	岩見沢市郷土科学館
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 厳見澤紀碑の公開	岩見沢市教育委員会
岩見沢市	〈市指定 有形文化財〉 一の沢水源地取水塔の公開	岩見沢市教育委員会
美唄市	〈市指定 天然記念物〉 光珠内いん石の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈道指定 有形文化財〉 美唄屯田兵屋の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 旧桜井家住宅の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 美唄屯田騎兵隊火薬庫の公開	美唄市教育委員会
美唄市	〈市指定 有形文化財〉 4 1 1 0 形式十輪連結タンク機関車 2 号の公開	美唄市教育委員会
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 星槎大学（旧頼城小学校）校舎及び体育館の公開	星槎大学
芦別市	〈国登録 有形文化財〉 旧三井芦別鉄道炭山川橋梁公開	芦別市経済建設部商工観光課
芦別市	〈道指定 史跡〉 野花南周堤墓群	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 有形文化財〉 滝里遺跡群出土遺物の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈道指定 天然記念物〉 黄金水松の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 天然記念物〉 新城仙台山の三本ナラの公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉 毛抜形太刀の公開	星の降る里百年記念館
芦別市	〈市指定 有形文化財〉 旧千場家レンガ倉庫	星の降る里百年記念館
滝川市	〈市指定 有形文化財〉 華月館の公開	滝川市教育委員会
滝川市	〈市指定 有形文化財〉 屯田兵屋の公開	滝川市教育委員会
深川市	郷土資料企画展	深川市教育委員会
長沼町	〈町指定 有形文化財〉 異形環状土器・壺形土器 2 点、馬追丘陵出土土器、石器 6 箱	長沼町教育委員会
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 「千瓢彫」 本田数馬翁の遺作 木	栗山町教育委員会

	彫りの鮭の公開	
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 泉記念館の公開	栗山町開拓記念館
栗山町	〈町指定 有形文化財〉 泉麟太郎君記念碑の公開	栗山町開拓記念館
月形町	〈町指定 文化財〉 樺戸集治監本庁舎	月形町役場産業課商工観光係
月形町	〈町指定 文化財〉 北海回覧記	月形町役場産業課商工観光係
新十津川町	〈町指定 有形文化財〉 絵馬（玉置神社奉祀之景）の公開	新十津川町教育委員会
妹背牛町	〈町指定 無形民俗文化財〉 町総合文化祭での獅子舞の公開	妹背牛町教育委員会
妹背牛町	〈町指定 有形文化財〉 獅子頭、天狗の公開	妹背牛町教育委員会
秩父別町	〈町指定 有形文化財〉 屯田の鐘の公開	秩父別町教育委員会
苫前町	〈町指定 有形文化財〉 須恵器（甕）の公開	苫前町郷土資料館
苫前町	〈町指定 有形文化財〉 修羅の公開	苫前町郷土資料館
枝幸町	〈国指定重要文化財〉 北海道目梨泊遺跡出土品の青銅製品 「矩形帯金具」の特別公開展示	オホーツクミュージアム えさし
興部町	〈町指定 有形文化財〉 興部町歴史的遺産第1号「米田御 殿」の公開	興部町教育委員会
室蘭市	〈国指定 史跡〉 東蝦夷地南部藩陣屋跡モロラン陣屋跡の 公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈国登録 有形文化財〉 旧室蘭駅舎の公開	室蘭市経済部観光課 室蘭観光協会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 仙台藩角田領添田家関係資料の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 輪西屯田兵記念碑、旧火薬庫、関 係資料の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 石川家不動明王像の公開	室蘭市教育委員会
室蘭市	〈市指定 有形文化財〉 白鳥大橋海底部等の出土の材化石、 貝化石の標本の公開	室蘭市教育委員会
平取町	特別展 遺跡からみたコタンの暮らし	沙流川歴史館
平取町	二風谷アイヌ文化博物館第16回特別展 沙流川流域の文化 的景観	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
平取町	〈国指定 登録有形文化財、重要文化的景観〉 マンロー館	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
陸別町	〈国指定 史跡〉 ユクエピラチャシ跡展	陸別町教育委員会
幕別町	〈町指定 有形文化財〉 札内N遺跡出土品の公開	幕別町ふるさと館
幕別町	幕別町蝦夷文化考古館収蔵品の公開	幕別町蝦夷文化考古館
厚岸町	文化財交流展示 野付通行屋資料展示	海事記念館
釧路市	〈市指定 有形文化財〉 星兜（残欠）の公開	釧路市立博物館
別海町	〈道指定 有形文化財〉 奥行臼駅通の公開	別海町教育委員会

別海町	〈町指定 有形文化財〉 奥行臼駅の公開	別海町教育委員会
別海町	〈町指定 有形文化財〉 旧別海村営軌道風連線停留所の公開	別海町教育委員会
標津町	平成21年度史跡伊茶仁カリカリウス遺跡発掘調査結果公開	標津町ポー川史跡自然公園

【イベント】

市町村名	公開・活用事業名	主催者
札幌市	時計台まつり記念行事	時計台まつり実行委員会
札幌市	北海道文化財保護功労者表彰	北海道文化財保護協会
恵庭市	親子ふれあい教室 勾玉づくり	島松公民館
恵庭市	体験学習会 アンギン編み	恵庭市郷土資料館
恵庭市	体験学習会 縄文土器の野焼き	恵庭市郷土資料館
恵庭市	体験学習会 勾玉づくり	恵庭市郷土資料館
函館市	重要文化財旧函館区公会堂コンサート 2009	財) 函館市文化・スポーツ振興財団
函館市	函館開港 150 周年記念歴史パネル特別展示 「安政の5カ国条約と箱館開港」	財) 函館市文化・スポーツ振興財団
函館市	「アイヌ文様刺しゅう教室」初級編 刺しゅう経験者向け（高校生以上）	函館市北方民族資料館
函館市	「アイヌ文様刺しゅう教室」入門編 初心者向け（高校生以上）	函館市北方民族資料館
函館市	2009 縄文の道フォーラム 体験講座 釣針づくり	特定非営利活動法人 函館市埋蔵文化財事業団
黒松内町	秋のブナ林宿泊パック	黒松内町ブナセンター
余市町	開運文化財めぐり IN 余市町（スタンプラリー）	余市水産博物館
深川市	文化財ビデオ上映	深川市教育委員会
長沼町	郷土資料移動展	長沼町教育委員会
長沼町	ながぬま町史跡・記念碑&工房めぐり	長沼町教育委員会
名寄市	名寄市指定文化財写真展	名寄市北国博物館
網走市	監獄食体験	博物館 網走監獄
北見市	野鳥観察と巣箱作り教室	常呂埋蔵文化財センター
北見市	世界遺産登録推進事業 竪穴式住居模型作り教室	常呂埋蔵文化財センター
苫小牧市	苫小牧市の文化財を巡ろうバスツアー	苫小牧市教育委員会
伊達市 (札幌市)	縄文へのいざない 縄文文化体験	噴火湾文化研究所
伊達市	新・縄文ロビー講座 生活体験	噴火湾文化研究所
洞爺湖町	町民ロビー展 子ども縄文絵画展	洞爺湖町教育委員会

白老町	写真展 -昭和 30 年～40 年の白老町-(仮)	白老町教育委員会
厚真町	昔の農機具体験	厚真町教育委員会
平取町	文化的景観現地説明会（秋季編） - マンロー館一般公開記念 -	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
厚岸町	ふるさと教室（博物館めぐり）	海事記念館

〔講演・講座〕

市町村名	公開・活用事業名	主催者
札幌市	世界遺産登録推進フォーラム 知る・語る縄文文化 （北の縄文・パネル展）	北海道教育庁文化・スポーツ課 （パネル展は道環境生活部と共催）
札幌市	文化の日講演会 東北の歴史からアイヌ・北海道をみる	北海道開拓記念館
函館市	2009 縄文の道フォーラム 海と縄文文化をテーマとした基調講演	特定非営利活動法人 函館市埋蔵文化財事業団
函館市	ミュージアム・トーク アイヌ民族など北方民族の歴史や文化	函館市北方民族資料館
伊達市 （札幌市）	縄文へのいざない 講演会	噴火湾文化研究所
伊達市	新・縄文ロビー講座 講演会	噴火湾文化研究所
厚真町 （苫小牧市）	シンポジウム厚真から開かれる擦文期からアイヌ期へ	厚真町教育委員会
札幌市	北方文化共同研究の現場から① 日露戦争前後のモネロン島（海馬島）	北海道開拓記念館
札幌市	アイヌ民俗文化財専門職員等研修会	北海道教育委員会 文化・スポーツ課
札幌市	北方文化共同研究の現場から② 中国帰国者の年中行事	北海道開拓記念館
恵庭市	考古学講座 恵庭のアイヌ文化期	恵庭市郷土資料館
恵庭市	カリンバ遺跡講座	恵庭市郷土資料館
平取町	二風谷アイヌ文化博物館講座沙流川流域の文化的景観	平取町立二風谷アイヌ文化博物館
平取町	沙流川歴史館講座	沙流川歴史館
厚岸町	古文書教室	海事記念館

・平成 20 年度北海道文化財保護強調月間は→

<http://www.dokyo.jp/hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkkan.htm>

(8) 平成 21 年度文化財パトロール

国指定文化財や埋蔵文化財包蔵地などの状況を把握し、計画的な維持・管理を行うため、文化財調査員 34 名を委嘱して計画的に巡視を行い、合わせて文化財保護思想の普及を図りました。

	有形文化財 有形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	埋蔵文化財 包蔵地	合計
パトロール対象件数	51	50	5	47	11,791	
パトロール実施件数	25	45	2	56	217	345

(9) 平成 21 年度史跡名勝天然記念物の現状変更等の許可件数

史跡名勝天然記念物の現状変更や、保存に影響を及ぼす行為をしようとするときは、文化庁長官・北海道教育委員会・市町教育委員会の許可が必要となります。

国指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
文化庁長官	17	3	58	78
北海道教育委員会	5	0	10	15
市町教育委員会	13	1	6	20

道指定

許可権者	史跡	名勝	天然記念物	合計
北海道教育委員会	0	0	13	13

(10) 平成 21 年度銃砲刀剣類の登録状況

銃砲刀剣類は、公安委員会の許可証又は都道府県教育委員会の登録証がなければ所持できないため、銃砲刀剣類の登録などを行いました。

登 録	登録証再交付	所有者変更	登録証返納	製作承認	合計(件数)
127	6	430	60	7	630

2 埋蔵文化財

(1) 市町村別埋蔵文化財包蔵地一覧

石狩	札幌市	528	後志	倶知安町	21	上川	名寄市	150	宗谷	利尻富士町	20	日高	えりも町	67
	江別市	142		共和町	30		富良野市	141		(宗谷計)	349		(日高計)	604
	千歳市	282		岩内町	13		鷹栖町	28		網走市	166		帯広市	59
	恵庭市	125		泊村	33		東神楽町	24		北見市	448		音更町	101
	北広島市	59		神恵内村	10		当麻町	18		紋別市	66		士幌町	39
	石狩市	221		積丹町	17		比布町	22		大空町	63		上士幌町	74
	当別町	18		古平町	11		愛別町	23		美幌町	120		鹿追町	44
	新篠津村	2		仁木町	24		上川町	23		津別町	54		新得町	30
渡島	(石狩計)	1,377	空知	余市町	63	川	東川町	22	網走	斜里町	363	十勝	清水町	34
	函館市	319		赤井川村	66		美瑛町	43		清里町	34		芽室町	61
	松前町	120		(後志計)	802		上富良野町	37		小清水町	42		中札内村	5
	福島町	33		岩見沢市	54		中富良野町	35		訓子府町	263		更別村	15
	知内町	32		夕張市	16		南富良野町	25		置戸町	104		大樹町	32
	木古内町	47		美唄市	6		占冠村	11		佐呂間町	38		広尾町	21
	北斗市	104		芦別市	93		和寒町	36		遠軽町	215		幕別町	132
	七飯町	72		赤平市	13		剣淵町	30		湧別町	54		池田町	58
	鹿部町	6		三笠市	12		下川町	69		滝上町	15		豊頃町	52
	森町	51		滝川市	10		美深町	42		興部町	38		本別町	93
	八雲町	99		砂川市	19		音威子府村	10		西興部村	14		足寄町	114
	長万部町	48		歌志内市	0		中川町	10		雄武町	48		陸別町	55
檜山	(渡島計)	931	後志	深川市	75	留萌	(上川計)	1,059	胆振	(網走計)	2,145		浦幌町	58
	江差町	64		南幌町	0		留萌市	28		室蘭市	36		(十勝計)	1,077
	上ノ国町	85		奈井江町	22		増毛町	16		苫小牧市	248		釧路市	136
	厚沢部町	54		上砂川町	0		小平町	19		登別市	29		釧路町	76
	乙部町	111		由仁町	37		苫前町	15		伊達市	88		厚岸町	90
	せたな町	70		長沼町	56		羽幌町	32		豊浦町	20		浜中町	121
	奥尻町	32		栗山町	37		初山別村	7		洞爺湖町	12		標茶町	207
	今金町	59		月形町	8		遠別町	5		壮瞥町	1		弟子屈町	50
	(檜山計)	475		浦臼町	48		天塩町	43		白老町	44		鶴居村	73
	小樽市	102		新十津川町	15		幌延町	18		安平町	67		白糠町	30
後志	島牧村	24	上川	妹背牛町	4	宗谷	(留萌計)	183	日高	厚真町	127	根室	(釧路計)	783
	寿都町	43		秩父別町	8		稚内市	139		むかわ町	96		根室市	303
	黒松内町	51		雨竜町	5		猿払村	18		(胆振計)	768		別海町	85
	蘭越町	48		北竜町	10		浜頓別町	19		日高町	129		中標津町	66
	ニセコ町	194		沼田町	6		中頓別町	8		平取町	126		標津町	186
	真狩村	20		幌加内町	8		枝幸町	70		新冠町	43		羅臼町	75
	留寿都村	7		(空知計)	562		豊富町	14		新ひだか町	153		(根室計)	715
	喜茂別町	13		旭川市	214		礼文町	50		浦河町	58		計 11,830	
	京極町	12		士別市	46		利尻町	11		様似町	28		(前年比 39 箇所増)	

・詳しい埋蔵文化財包蔵地の位置は「北の遺跡案内」へ

→<http://www.dokyo.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm>

(2) 平成 21 年度埋蔵文化財保護のための事前協議件数と北海道実施の所在・試掘調査一覧

	件数	面積
埋蔵文化財保護のための事前協議	718	
平成 21 年度北海道実施の所在調査	78	9, 420, 798ha
平成 21 年度北海道実施の試掘調査	68	233. 821ha

(3) 平成 21 年度北海道実施の管内別埋蔵文化財所在調査・試掘調査一覧

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
石狩	0	—	2	0. 269ha
渡島	5	4. 885ha	12	8. 577ha
桧山	0	—	0	—
後志	7	245. 891ha	4	2. 010ha
空知	14	3, 665. 800ha	8	21. 160ha
上川	5	746. 700ha	6	27. 148ha
留萌	3	221. 072ha	2	1. 240ha

管内	所在調査		試掘調査	
	件数	面積	件数	面積
宗谷	0	—	2	3. 043ha
網走	10	1, 318. 671ha	3	7. 800ha
胆振	12	1, 235. 935ha	14	136. 018ha
日高	2	15. 854ha	4	5. 6225ha
十勝	16	1, 354. 790ha	10	20. 314ha
釧路	4	611. 200ha	0	—
根室	0	—	1	0. 620ha

・平成 21 年度の所在・試掘調査→<http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/surveytestpit.htm>

(4) 平成 21 年度管内別発掘調査一覧

管内	件数	調査面積
石狩	15	27, 270 m ²
渡島	17	21, 976 m ²
桧山	5	6, 197 m ²
後志	1	80 m ²
空知	0	—
上川	5	4, 164 m ²
留萌	0	—

管内	件数	調査面積
宗谷	2	1, 413 m ²
網走	16	14, 304 m ²
胆振	11	9, 405 m ²
日高	1	1, 180 m ²
十勝	1	28 m ²
釧路	6	1, 918 m ²
根室	5	1, 234 m ²
合計	85	89, 169 m ²

・平成 21 年度の発掘調査の概要は

→ <http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shichousongaiyou-h21.htm>

(5) 平成 21 年度周知の埋蔵文化財包蔵地での工事の届等件数

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 93 条	0	10	94	66	0	161
法第 94 条	0	45	82	35	1	154

(6) 平成 21 年度埋蔵文化財包蔵地の発見届等

条項	内訳（指示事項別）					合計
	現状保存	発掘調査	工事立会	慎重工事	その他	
法第 96 条	0	0	0	0	0	0
法第 97 条	0	0	0	0	0	0

(7) 平成 21 年度出土文化財認定件数と出土遺物量

認定機関	認定件数	発見通知	合計(件数)	合計(箱数)
北海道	62	1	63	4,862 箱
政令市・中核市	7	13	20	221 箱

(8) 平成 21 年度出土文化財譲与件数

	市町村数	件数	箱数
出土文化財譲与	16	80	5,831 箱

※箱数は概ね 60 cm×40 cm×15 cmに換算したものです。

3 その他

(1) 北海道教育推進計画（第四次北海道教育長期総合計画 平成 20 年 3 月）

基本目標 5 北海道らしい生涯学習社会の実現

基本方向 1 1 文化・芸術活動の推進

項目 3 6 文化財の保存・活用

● 現状

道内には、長い間受け継がれてきた貴重な文化財が数多く残されています。これらは、北海道の歴史や文化を正しく理解するために欠かせないものであり、これまでも道民の共有財産として保存・活用を図ってきましたが、時代の推移により保存や伝承が困難となっているものもあるため、次の世代に確実に守り伝えていくことが課題となっています。

また、本道初の国宝の誕生や縄文遺跡群など【世界遺産】の世界遺産登録への気運の盛り上がりなどにより、文化財に対する関心が一層高まる中で、本道の特色を生かした文化財の保存・活用や文化財を活用した魅力ある地域づくりが求められています。

● 施策の概要

本道の貴重な文化財を保護するため、有形・無形の文化財、記念物、埋蔵文化財等の調査及び保存・活用を積極的に推進するとともに、アイヌ民俗文化財の保存・伝承の取組を重点的に推進します【世界遺産】。

また、世界遺産登録の実現をめざし積極的に取組を進めるとともに、文化財の価値や魅力を次代に伝え継承していくため、文化財に親しむ機会の提供や文化財情報の発信に努めます。

● 施策の対応方向

■ 文化財の調査・保存・活用の推進

・ 有形・無形の文化財、史跡・名勝・天然記念物及び埋蔵文化財等を次代へ引き継いでいくため、文化財の調査及び保存・活用を積極的に進めます。

■ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進

・ アイヌの人たちが北国の風土に根ざして育んできた文化は、本道の歴史や文化の形成に深くかかわっており、特に、自然との共生の中で培われた豊かな知恵や経験は貴重な財産と言えます。有形・無形のアイヌ民俗文化財を後世に伝えていくため、継続して調査に取り組むとともに、保存・伝承活動を推進します。また、引き続き、学校においてアイヌの人たちの歴史・文化等についての理解を深める教育活動の充実に取り組みます。

■ 世界遺産登録に向けた取組の推進

・ 国指定史跡の縄文遺跡群や大規模縄文住居跡群を人類共通の宝として未来に引き継いでいくため、ユネスコ（国際連合教育科学文化機関）の世界文化遺産への登録に向けた取組を推進します。

■ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信

・ 貴重な文化財の価値を正しく理解し、地域全体で後世に伝えていくため、学校教育や社会教育の場において文化財を活用する機会や、子どもや地域の人々が文化財に親しむ機会を提供するとともに、文化財に関する多様な情報の発信に取り組みます。

● 主な事業の概要（H20～24）

事業の概要	実施主体
○ 文化財の調査・保存・活用の充実 - 文化財の指定や登録等を推進するとともに、文化財パトロールの実施等により、指定文化財等の現状を把握し、必要に応じて保存整備を行います。 - 埋蔵文化財包蔵地の的確な把握とその周知に努めます。	道 市町村 民間
○ アイヌ民俗文化財の調査・保存・伝承活動の推進 - アイヌ民俗文化財調査事業やアイヌ民俗文化財保存・伝承事業を実施するとともに、「アイヌ民族文化祭」やアイヌ語指導者養成講座等の開催を支援します。 - アイヌ民俗文化財等の指定を推進します。	道 市町村 民間
○ 世界遺産登録に向けた取組の推進 縄文遺跡群や大規模縄文住居跡群を資産候補として、北東北3県（青森県、岩手県、秋田県）及び道内関係市町村等と連携を図り、世界遺産暫定一覧表への登録をめざすとともに、普及・啓発事業や周知活動に取り組みます。	道・県 市町村 民間
○ 文化財に親しむ機会の提供と情報の発信 「文化財保護強固月間」を設けて文化財に親しむ機会を提供するとともに、web版「北海道文化財年報」や指定文化財情報等のデータベース化を図り、文化財に関する総合的な情報の発信に取り組みます。	道 市町村 民間

● 目標指標

指標	指標の概要	基準年度の状況	目標年度の状況
国及び北海道の指定文化財数	国及び北海道が指定する文化財の数	H18 295件	H24 320件
アイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	道内各地で実施されたアイヌ文化にかかわる講座・研修会等への参加者数	H18 1,262人	H24 1,500人

(2)平成 21 年度北海道文化財保護審議会

北海道教育委員会では、附属機関として北海道文化財保護審議会を設けています。この審議会は、北海道教育委員会の諮問に応じて文化財の保存・活用に関する重要な事項について調査審議し、教育委員会に意見を述べます。

審議会の委員は、学識経験者や文化財と関連の深い行政機関の職員から、教育委員会が任命します。現在、審議会は 15 名の委員で構成されています。

北海道文化財保護審議会の会議の傍聴については、会議の前日までに、申込先に、「住所」「氏名」「年齢」「連絡先」を申し出て、許可を受けると傍聴することができます。なお、「非公開」の議題は傍聴できません。

- ・ 申込先：北海道教育庁生涯学習推進局文化・スポーツ課文化財保護グループ

直通電話 (011)204-5749 FAX (011)232-1076

平成 21 年度は次のとおり開催しました

開催年月日	時 間	場 所	審議内容
平成 21 年 12 月 21 日(月)	13 : 30 ～15 : 30	道庁別館 10 階 北海道労働委員会 会議室	・「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界遺産登録推進について ・「アイヌ古式舞踊」のユネスコ無形文化遺産代表一覧表への記載について ・第 51 回北海道・東北ブロック民俗芸能大会について
平成 22 年 2 月 25 日(木)	13 : 30 ～15 : 30	道庁別館 地下 1 階会議室	・文化財指定・登録の状況について ・「文化財まる知ナビ」等の文化財に関する情報提供事業について ・「大乘妙典一千部供養塔」「知里幸恵ノート」の道指定有形文化財の指定について

(3) 北海道文化財保護審議委員一覧（平成 22 年 3 月 31 日現在）

（任期：平成 20 年 7 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）

氏 名	所 属 等
沖野 慎二	東海大学准教授
小栗 祐美	北海道教育大学教授（函館校）
片倉 晴雄	北海道大学大学院教授
角 幸博	北海道大学大学院教授
菊池 俊彦	北海道大学名誉教授
齋藤 傑	三浦綾子記念文学館副館長
佐藤 一夫	特定非営利活動法人函館市埋蔵文化財事業団理事長
進藤貴美子	北海道教育大学教授（釧路校）
高橋 英樹	北海道大学総合博物館教授
常田 益代	北海道大学留学生センター教授
早矢仕有子	札幌大学准教授
本田 優子	札幌大学教授
松本 政美	北海道開発局開発監理部長
箕浦名知男	北海道大学総合博物館研究員

平成 21 年 12 月 1 日から 1 名欠員

- ・北海道文化財保護審議会について→<http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/hogoshingikai.htm>

(4) 平成 21 年度銃砲刀剣類登録審査会

平成 21 年度の銃砲刀剣類登録審査会を次のとおり 4 回開催しました。

審査年月日	時 間	場 所
平成 21 年 6 月 12 日（金）	10：30～15：00	道庁別館 8 階 1 号会議室（札幌市中央区北 3 条西 7 丁目）
平成 21 年 8 月 28 日（金）	10：30～15：00	北海道上川合同庁舎 302 号会議室（旭川市永山 6 条 19 丁目）
平成 21 年 12 月 1 日（火）	10：30～15：00	道庁別館 8 階 1 号会議室（札幌市中央区北 3 条西 7 丁目）
平成 22 年 2 月 22 日（月）	10：30～15：00	道庁別館地下 1 階大会議室（札幌市中央区北 3 条西 7 丁目）

(5) 北海道銃砲刀剣類登録審査委員（平成 22 年 3 月 31 日現在）

（任期：平成 20 年 5 月 19 日～平成 22 年 3 月 31 日）

銃砲刀剣類登録審査委員	審査会場
廣 田 淳 一	札幌（6 月、12 月）
田 中 益 穂	旭川、札幌（2 月）
渡 邊 徹	札幌（6 月、12 月）
野 波 明 利	旭川、札幌（2 月）
石 井 利 明	札幌（6 月、12 月）

(6) 北海道立埋蔵文化財センター

①入館者

平成 21 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
入館者数	1192	1978	934	1537	1370	1169	1120	745	577	516	374	472	11,984

②資料等の閲覧・貸出等件数

平成 21 年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	1	6	9	2	2	8	9	3	1	3	5	4	53

③事業別参加人数

区分	事業名	開催日	参加人数
講演会等	平成 20 年度発掘調査報告会	平成 21 年 4 月 11 日	83 人
	秋季講演会	平成 21 年 10 月 3 日	42 人
	冬季講演会	平成 21 年 12 月 19 日	121 人
考古学教室	ガラス玉づくり 1	平成 21 年 6 月 20 日	15 人
	ガラス玉づくり 2	平成 21 年 6 月 27 日	13 人
	竪穴模型づくり	平成 21 年 9 月 5 日	15 人
	石器づくり	平成 21 年 11 月 28 日	15 人
	考古学入門講座	平成 21 年 12 月 12 日	17 人
	拓本講座	平成 21 年 3 月 13 日	13 人
	夏休み親子考古学教室 1(第 1 回)	平成 21 年 7 月 25 日	23 人
	夏休み親子考古学教室 2(第 2 回)	平成 21 年 8 月 1 日	51 人
	冬休み親子考古学教室 1(第 1 回)	平成 22 年 1 月 9 日	23 人
	冬休み親子考古学教室 2(第 2 回)	平成 22 年 1 月 16 日	21 人
体験ひろば	写生会	平成 21 年 7 月 18 日～8 月 30 日	76 人
	冬休み縄文生活体験ひろば	平成 22 年 1 月 5～17 日	12 人
	冬休み親子写真撮影会		
研修会	平成 21 年度埋蔵文化財担当職員研修会	平成 22 年 2 月 5 日	37 人

④平成 21 年度テーマ展日程

展 示 名		展示期間
1	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成 20 年度発掘調査成果展	平成 21 年 3 月 27 日～6 月 7 日
2	わかる考古学―縄文生活体験ひろば―展	平成 21 年 7 月 18 日～8 月 30 日
3	動物の考古学―イノシシ・ブタからみた北海道の歴史―展	平成 21 年 9 月 19 日～11 月 15 日
4	北海道遺跡百選 2―北海道埋蔵文化財センターの調査から	平成 21 年 12 月 19 日～22 年 3 月 7 日
5	(財)北海道埋蔵文化財センター 平成 21 年度発掘調査成果展	平成 22 年 3 月 27 日～6 月 7 日

⑤平成 21 年度考古学教室出前講座一覧

事業分

市町村	実施場所	実施日	参加人数
釧路町	ふるさと陶芸館	平成 21 年 7 月 4 日	45 名
中富良野町	中富良野町公民館	平成 21 年 8 月 8 日	37 名
長万部町	長万部町町民センター	平成 21 年 8 月 22 日	32 名
小平町	小平町文化交流センター	平成 21 年 8 月 29 日	14 名
羽幌町	羽幌町中央公民館	平成 21 年 9 月 6 日	27 名
雨竜町	雨竜町公民館	平成 21 年 9 月 12 日	37 名
喜茂別町	喜茂別町農村環境改善センター	平成 22 年 2 月 27 日	26 名

(7)文化財情報の発信

文化財の価値や魅力を子どもたちや道民に広く知ってもらうため、北海道教育委員会のホームページで文化財情報の発信を行いました。

主な文化財情報は次のとおりです。ぜひ、アクセスしてみてください。

ホームページタイトル	公開日	主 な 内 容
北の遺跡案内	平成 16 年～ (随時更新)	北海道内に所在する埋蔵文化財包蔵地の位置を地図上に示し、あわせて遺跡名、所在地、時期、出土遺物などの遺跡情報を公開しています。
		URL : http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kitanoisekiannai.htm
指定文化財をみることのできる主な博物館・資料館	平成 20 年 1 月 30 日	国指定や道指定などの文化財を展示・公開している博物館・郷土資料館について、主な見どころと所在地などを紹介しました。
		URL : http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/19museum-guide.htm
文化財まる知ナビ	平成 20 年～ (随時更新)	文化財に関する情報をニュースレター形式で分かりやすく解説したものです。年 4 回刊行しています。
		URL : http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/bunkazaimaruchinabi.htm
平成 20 年度北海道文化財年報	平成 21 年 5 月 24 日	平成 19 年度の北海道における文化財保護の動き、現状についてわかりやすくまとめ、公開しました。
		URL : http://www.dokyoai.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/20bunnkazai-nenpo.htm
平成 21 年度文化財保護強調月間	平成 21 年 7 月 29 日	北海道文化財強調月間 (10 月 8 日～11 月 7 日) 期間中に開催された文化財公開・活用事業ガイドブックを公開するとともに、小学生～高校生が応募

		したキャッチフレーズやシンボルマークを掲載しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/kyoutyougekkkan.htm
市町村における発掘調査の概要(平成 21 年度版)	平成 22 年 3 月 8 日	平成 21 年度に市町村教育委員会が実施した発掘調査について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shichousongaiyou-h21.htm
もっと知ろう身近な文化財(指定文化財概要一覧)	平成 21 年 12 月 16 日	国指定・道指定の概要について画像とともに紹介しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/shiteibunnkazaijoho.htm
「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録をめざして	平成 21 年 8 月 7 日～ (随時更新)	「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の世界文化遺産登録にむけたフォーラムや特別展などの取組について紹介しました。
		URL : http://www.dokyoι.pref.hokkaido.lg.jp/hk/bns/wh.htm

(8)文化財関係機関・団体リンク

1	文化庁	http://www.bunka.go.jp/
2	北海道環境生活部道民活動文化振興課	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ks/dbs/
3	財団法人北海道埋蔵文化財センター	http://www.domaibun.or.jp/
4	北海道文化財保護協会	http://www10.ocn.ne.jp/~bunkazai/